

令和元年第3回区づくり推進横浜市会議員会議（南区）

令和元年9月9日（月）15:00～
南区役所6階 特別会議室

1 開 会

2 座長あいさつ

3 区長あいさつ

4 議題

- (1) 平成30年度南区個性ある区づくり推進費の決算について
【資料1】・・・P 1
- (2) 令和元年度南区個性ある区づくり推進費の執行状況について
【資料2】・・・P23
- (3) 令和2年度南区個性ある区づくり推進費の
編成に向けての考え方について
【資料3】・・・P47

5 閉 会

区づくり推進横浜市会議員会議運営要領

制 定 平成 6年 5月25日

最近改正 平成25年 8月 9日

1 目 的

本市における個性ある区づくり推進費等について協議するため、各区に区づくり推進横浜市会議員会議（以下「会議」という。）を置く。

2 招 集

会議は、市会議長が招集する。

3 構 成

会議は、当該区選出の市議員をもって構成し、互選による座長を置く。

4 協議事項

個性ある区づくり推進費に関して協議する。また、区の主要事業（区内において局が行う事業及び区配事業を含む）に関して必要に応じ協議する。

5 説明員

区長及び区局関係職員とする。

6 開催内容及び開催時期

開催内容及び開催時期は、次のとおりとする。

- (1) 個性ある区づくり推進費の翌年度予算案に関して、予算特別委員会の審査日程を考慮して開催する。
- (2) 個性ある区づくり推進費の当該年度執行計画等に関して、6月頃開催する。
- (3) 個性ある区づくり推進費の前年度実績と当該年度の執行状況及び翌年度予算編成の考え方に関して、決算特別委員会の審査日程を考慮して開催する。
- (4) 局が行う事業及び区配事業を含む区の主要事業に関しては、上記開催時に必要に応じて適宜協議する。

7 事務等

- (1) 会議の事務は区長が行い、会議の概要を記載した議事録を作成する。
- (2) 議事録は、会議の日時、場所、出席者、議題及び発言の要旨を記載する。
- (3) 座長は、議事録を議長に提出する。提出された議事録は、議長において、これを公開する。

附 則

この要領は、平成16年12月10日より施行する。

附 則

この要領は、平成25年 8月 9日より施行する。

資料 1

(1)平成30年度南区個性ある区づくり推進費の決算について

平成30年度 南区個性ある区づくり推進費 決算書

1 自主企画事業費

(単位：円)

区 分	事 業 内 容	予算額	決算額	差引
減災	みなみ減災推進事業<重>	13,299,000	13,695,810	396,810
健やか	働き・子育て世代からの健康応援事業<重>	15,808,000	13,919,561	1,888,439
	区民スポーツ支援事業<重> ほか2事業			
賑わい	南区あったかいふるさとまつり事業<重>	29,237,000	27,873,963	1,363,037
	みなみ多文化共生推進事業<重> ほか4事業			
こども	すこやか子育て支援事業<重>	11,281,000	11,021,044	259,956
	青少年育成事業			
地域の力	地域の力応援事業<重>	4,350,000	3,712,121	637,879
着実に取り組む事業	広聴広報相談事業	28,886,000	31,352,286	2,466,286
	みなみチャレンジごみ減量事業 ほか4事業			
合 計 (20事業)		102,861,000	101,574,785	1,286,215

(事業名の(重)は重点事業)

2 一般管理費

(単位：円)

区 分	事 業 内 容	予算額	決算額	差引
統合事務費		32,031,000	35,096,794	3,065,794
区庁舎・区民利用施設管理費		545,673,000	524,543,582	21,129,418
区庁舎等	区庁舎等管理運営費	143,273,000	128,414,410	14,858,590
土木事務所	土木事務所管理運営費	4,460,000	4,317,996	142,004
公会堂	公会堂管理運営費	39,063,000	37,684,612	1,378,388
地区センター・ スポーツ会館	地区センター(4施設)、スポーツ会館指定管理者 委託料	157,833,000	157,800,475	32,525
青少年施設	こどもログハウス指定管理者委託料	7,820,000	7,820,000	-
老人福祉センター	老人福祉センター指定管理者委託料	28,201,000	28,201,000	-
コミュニティハウス	指定管理者委託料(5施設)、区民利用施設運営委 託料(2施設)	88,557,000	88,536,000	21,000
スポーツセンター	スポーツセンター指定管理者委託料	38,000,000	37,600,000	400,000
みなみ市民活動・多 文化共生ラウンジ	みなみ市民活動・多文化共生ラウンジ管理運営費	29,594,000	29,585,670	8,330
その他施設(広場・ 遊び場)	子どもの遊び場遊具等安全点検委託料、子どもの遊び場等 管理運営委託料、町のはらっぱ運営費等補助金	1,372,000	1,476,897	104,897
区庁舎・区民利用施 設修繕費	区庁舎、土木事務所、区民利用施設修繕費	7,500,000	3,106,522	4,393,478
合 計		577,704,000	559,640,376	18,063,624

総 計	680,565,000	661,215,161	19,349,839
-----	-------------	-------------	------------

<参考>

(単位:円)

	予算額	決算額	差引
区局連携促進事業	50,067,000	49,574,572	492,428
緊急時情報システム運用試行事業	898,000	405,572	492,428
大岡川鶴巻橋そば公衆トイレ建替え事業	43,776,000	43,776,000	0
外国籍等生徒に向けた放課後学習サポート事業	1,893,000	1,893,000	0
「多文化共生コミュニティづくり」のモデル実施	3,500,000	3,500,000	0
南区元気な地域づくり推進事業 (みなみ・地域づくり大学校を含む)	5,549,000	3,819,869	1,729,131
区環境未来都市推進事業	1,000,000	993,600	6,400
大規模団地の活性化支援	1,000,000	993,600	6,400

平成30年度 南区個性ある区づくり推進費自主企画事業の重点

平成30年度南区個性ある区づくり推進費自主企画事業費については、「減災」「健やか」「賑わい」「こども」の4つを重点に位置付けるとともに、引き続き「地域の力」を取組の核と位置付け、「地域の力」をより高められるよう予算編成を進めます。

取組を行うにあたっては、部・課を超えた「横のつながり」による区役所のさらなる一体化を進め、効率的・効果的に事業を実施し、地域の皆さまと「共感と信頼」を育みながら「あったかい」と感じていただける南区を目指します。

重点分野1 減災

大地震、土砂災害等で大きな被害が想定される南区では、被害軽減に向けて、区民一人ひとりの自助対策をはじめ、共助力向上を支援し、地域防災力を充実させます。

- 【重点事業】 みなみ減災推進事業
- 【再掲】 すこやか子育て支援事業

重点分野2 健やか

幼少期からの食育の推進、働き・子育て世代からの生活習慣病予防やウォーキング等運動習慣の定着、介護予防など、ライフステージにあわせた取組を進め、いくつになっても地域で自分らしく暮らすことを目指します。

- 【重点事業】 働き・子育て世代からの健康応援事業
- 【重点事業】 いきいきシニア健康応援事業
認知症早期対応・見守り支援事業
- 【重点事業】 区民スポーツ支援事業
- 【再掲】 みなみのみらい計画推進事業

重点分野3 賑わい

下町情緒あふれる商店街、南区4大まつり、歴史ある寺社や文化財、大岡川プロムナードや桜の名所など魅力ある資源を生かし、市内外からの誘客に取り組めます。また、多文化共生のまちづくりを推進します。

- 【重点事業】 南区あったかいふるさとまつり事業
魅力発信・賑わいづくり事業
みなみ商店街いきいき事業
区民文化活動支援事業
- 【重点事業】 みなみ多文化共生推進事業
- 【重点事業】 みなみのみらい計画推進事業

重点分野4 こども

子どもを地域と共に見守ることや、多様な情報を発信することなどによる子育て支援や孤立防止、青少年の健全育成を進めます。また、外国籍等の児童・養育者を支援します。

- 【重点事業】 すこやか子育て支援事業
青少年育成事業
- 【再掲】 みなみ減災推進事業
- 【再掲】 みなみのみらい計画推進事業
- 【再掲】 みなみ多文化共生推進事業
- 【再掲】 区民スポーツ支援事業

「地域の力」

地域の实情に応じて地域活動を支援することで、地域の力を応援し、地域の皆さまと一緒に地域の活性化に取り組めます。

『「地域の力」応援事業』= 地域の力を応援するための基礎となる事業

地区別情報収集・提供事業

地域連携情報発信事業

コーディネーター派遣事業

「地域の力」を応援する視点での事業の工夫（11事業）

地域

担い手後継者の確保、若い層の地域関心度向上、地域の取組意欲の一層の盛り立てに向けて、自治会・町内会や各種団体、企業、学校、施設等に対し、出会いながら場面を設定し、お互いの活動を理解して、ちょっと協力し合える関係づくりを支援できるよう事業を工夫しました。

着実に取り組む事業

区庁舎環境整備等事業
地域住民組織との連絡調整事業

広聴広報相談事業
地域で守ろう私の安全安心事業

みなみチャレンジごみ減量事業
食とくらしの衛生支援事業

平成30年度南区個性ある区づくり推進費自主企画事業費 執行実績

* 「事業名」欄の 重点 は重点事業です。

新規 30年度新規事業

地域 「地域の力」を応援する視点での事業の工夫

1 減災

1 みなみ減災推進事業 重点	予算額	決算額	差引
	1,329万9千円	1,369万6千円	39万7千円

災害時、自らの身を守るための「自助」意識向上のための防災啓発事業、「共助」の取組である災害時要援護者支援事業、そして災害対応力の向上のための「公助」の取組である区災害対策本部及び災害医療体制の強化に取り組みました。

【自助】

(1) 防災啓発事業

- ・区民の自助意識向上のため、「みなみく防災フェスタ」を開催しました。(2月)
- ・自治会・町内会等の防災・共助意識向上のため「ご近助講座」を開催しました。(15回実施)
- ・自助意識の向上、防災・共助活動の担い手であることの意識付けのため「中学生講座」を開催しました。(7月・蒔田中、9月・六ツ川中、11月・南小、共進中)

(2) 自助支援事業

- ・家具転倒防止器具、ガラス飛散防止フィルムの設置の一部を助成しました。(9～2月)
 - ア 家具・・・件数：49件
補助対象額：8,000円
補助率：重点対策地域 10分の9<前年同> 一般地域 3分の2 <前年2分の1>
 - イ ガラス・・・件数：26件
補助対象額：15,000円
補助率：3分の2

【共助】

(3) 災害時要援護者取組支援事業

- ・地域の支援者を対象とした事業説明会を開催しました。(7月・2回開催・121自治会町内会・230人参加)
- ・要援護者支援事業の取組を推進するため、区保有の要援護者名簿を引き続き提供するとともに、あらたに要援護者の居所を示す地図を提供しました。(名簿提供に係る協定締結140自治会町内会(平成30年度末))
- ・要援護者名簿の作成・更新の取組を進める自治会町内会の支援者等に対して、訪問活動等支援する物品(防災手ぬぐい、LEDライト付プザー)を提供しました。

(4) 災害時要援護者移送支援事業

- ・要援護者の移送に必要な車いすを各地域防災拠点ごとに1台(計25台)配備しました。(10月)

【公助】

(5) 災害対策本部運営強化事業

- ・土砂災害時に開設する避難所の環境改善のため、備品等を充実しました。(～2月) **新規**
備品：LEDランタン、懐中電灯、備蓄食料等
- ・土砂災害時に迅速な広報・注意喚起及び連絡体制の確保ができるよう、即時避難勧告対象世帯向け「音声情報システム」等の適切な通信環境を維持しました。
(情報受信ツール登録状況 141世帯<対象252世帯>)
- ・発災時に、物品の移送等で必要となるリアカー(2台)を本部に配備しました。(6月)

(6) 地域防災拠点運営強化事業

- ・地域防災拠点の備蓄庫内の資機材の点検修理を行いました。(11月)
- ・地域防災拠点の訓練内容充実のために、資機材取扱に関する研修を実施しました。(10月・蒔田小、2月・南が丘中)
- ・地域防災拠点に配備している燃料用の灯油等を更新しました。(3月) **新規**

(7) 災害医療体制強化事業

- ・災害時においても、安定した医療を提供できるよう、南区災害医療物品等研修会(7月・25人)、南区医療救護隊訓練(12月・48人)、南区災害医療連絡会議(3月)を開催しました。また、医療関係物品を購入し、災害医療体制の充実を図りました。

主な増減理由

- ・災害対策本部運営強化事業における、避難者用衛生用品購入及び職員用備蓄品購入による増【250万1千円】
- ・地域防災拠点運営強化事業における、備蓄庫内の照明の修繕減による減【46万1千円】
- ・災害時要援護者移送支援事業における、移送支援用具購入減による減【135万円】

<参考> 区局連携促進事業

緊急時情報システム運用試行事業	予算額	決算額	差引
	89万9千円	40万6千円	49万3千円
<p>・即時避難勧告時に利用している「音声情報システム」を、自治会町内会との連絡及び情報共有にも活用し、効率的・効果的な情報伝達体制を確立し、自助共助の醸成、地域防災力の向上を図りました。</p>			
主な増減理由	区で別途運用しているシステムの活用及び想定より発信数が減少したことによる減【49万3千円】		

2 健やか

1 働き・子育て世代からの健康応援事業 重点	予算額	決算額	差引
		451万4千円	428万3千円

高齢化が進む中で、健康寿命を延ばし、地域の中で生き生きと自立した生活を送る区民が増えることが非常に大切です。若い時期からの生活習慣病の予防、日常的な運動習慣、健康診断の受診勧奨等を通じ、働き・子育て世代からの心身の健康づくりを応援しました。

(1) 働き・子育て世代の健康づくり推進事業

- ・食育関係者との意見交換(2月・26人参加)や食育普及啓発のイベント(6月・230人参加、10月・167人参加)、バランス良く食べることを啓発するリーフレットの作成・配布(11月・2,000部)に取り組みました。
- ・糖尿病講座(9月・55人参加)や健康サポートのパンフレットを配布し、生活習慣改善に取り組む区民を増やす風土づくりを行いました。
- ・定年後の男性を対象とした「60代から始める男の健康講座」を実施し、健康づくりの意識・知識を高め、地域の活動に参加するきっかけづくりに取り組みました。**地域**
(6～8月・1コース4回、延べ61人参加)
- ・事業者等を対象に生活習慣病予防の健康教育、健康相談を実施しました。(8回・202人)
- ・がん、結核、熱中症の予防・早期発見・対応について広報・チラシの配布・講演会や学習会等を活用した各種健康教育等を実施しました。
- ・ウォーキングの基礎を学ぶ講習会(5月・13人参加)やウォーキング姿勢を重視したポスチュアウォーキング講習会(7月・16人参加、10月・19人参加)を実施しました。
- ・保健活動推進員が主催する地域でのウォーキング開催の運営を支援しました。
(年17回・446人参加)

(2) 特定健診受診率向上事業

特定健診未受診者に受診するよう電話勧奨を行いました。(2月・延べ4,631人)
H30年度より特定健診の受診料が無料になりました。

(3) 自殺対策事業

- ・「自殺対策基本法」「自殺総合対策大綱」「横浜市自殺対策庁内指針」に基づき、局、関係機関及び区役所各課と連携を取りながら自殺対策に取り組みました。
- ・自殺対策強化月間に、南図書館や区役所で啓発キャンペーンを実施しました。(9、3月)

(4) 障害者サポート事業

- ・障害者の健康に関する知識の習得や運動の機会提供のために、南スポーツセンターを会場に講義や運動実技の講座を開催しました。(11回・延べ857人参加)
また、新たな取組として、重度障害者への対応として障害者地域作業所へ出張し実施(1回・14人参加)しました。
- ・障害者・関係者と地域住民がつながる「きっかけづくり」として、障害者施設・作業所の場所や活動内容をわかりやすく記載したリーフレットを作成しました。(3,000部)

(5) いきいきふれあい南なんデー

- ・健康福祉まつりの開催を通して、区民の健康増進と地域福祉の向上を図りました。
(10月・大岡健康プラザ・延べ10,844人)

主な増減理由	・働き子育て世代の健康づくり推進事業における、生活習慣改善イベント実施委託の契約残【11万円】
--------	---

2 いきいきシニア健康応援事業 重点	予算額	決算額	差引
	413万9千円	353万円	60万9千円
<p>高齢者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう、地域包括ケアシステムの構築に向けた、南区行動指針を推進しました。</p> <p>高齢化が進む中で、健康寿命を延ばし、地域の中で生き生きと自立した生活を送ることができるよう、介護予防に向けた取り組みを進めるとともに、地域の見守り・支え合いを関係機関と連携して進めました。</p> <p>(1) 地域包括ケアシステム推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リーフレットを作成し、地域包括ケアシステムについて周知しました。 ・各地域包括支援センターが開催する地域ケア会議の開催支援として、講師委託による地域分析を実施しました。(4～10月・8地区・186人参加) この内容をまとめた振り返り研修を包括支援センター職員等を対象に実施しました。(11月) ・区地域ケア会議を実施し、区内で実施されている地域ケア会議の状況や、南区内の高齢者の見守り体制について報告を行いました。(2月) <p>(2) お元気21高齢者推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護予防の普及啓発、介護予防健診や介護予防教室の運営を行うボランティアの養成講座(6～7月・4回・区役所他、1回につき約25人参加)と活動支援を行いました。 ・ボランティアと協働で介護予防健診「お元気で21健診」を実施(5～10月・7会場・215人参加)するとともに、地域の高齢者サロン等で、ボランティアによる出前講座等を実施しました。 ・地域での介護予防に加え、認知症を知り、認知症予防の取組を実践するグループを「お元気21サロン」として、参加者が軽度認知障害(MCI)になっても継続して介護予防に取り組めるようグループをサポートしました。(2か所) ・かいご予防サポーターが自治会町内会や公園愛護会などの地域の活動者へ働きかけ、連携することで、それぞれの活動の活性化につなげました。 <p>なお、4月に青少年指導員退任者へかいご予防サポーターの活動内容や養成講座について周知しました。 新規 地域</p> <p>(3) 地域ささえあい活動推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区社会福祉協議会が行う高齢者の交流事業へ補助金を交付しました。(4月) ・高齢者等への定期訪問を実施しました。 			
主な増減理由	・地域包括ケアシステム推進事業において、地域分析に係る委託の内容を修正・変更したことによる減【36万8千円】		

3 認知症早期対応・見守り支援事業	予算額	決算額	差引
		185万円	112万円
<p>認知症の予防や認知症の早期診断・早期対応を推進するため、認知症に関する知識の積極的な啓発を行います。また、認知症になっても安心して暮らせるまちづくりを目指します。</p> <p>(1) 認知症の啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域ケアプラザ等身近な場所で医師などによる講演会を実施しました。(9月・市大との共催講演会・区公会堂・約270人参加、 12月・睦地域ケアプラザとの共催・吉野町市民プラザ・約120人参加、 2月・大岡地域ケアプラザとの共催・大岡地区センター・約80人参加、 2月・特養ホーム白朋苑地域包括支援センター・約20人参加) ・リーフレット等を活用し、区内の病院や薬局などでの配布・掲示を行いました。 ・認知症キャラバンメイト支援のための活動発表会を実施しました。(2月) <p>(2) 認知症サポート医との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・南区医師会の協力を得て、認知症サポート医を中心とした体制づくりを行い、認知症に関する課題の把握と効果的な早期対応の取組について検討実施しました。(4、11月・南区認知症対策委員会拡大会議) <p>(3) 見守り支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「南区認知症高齢者あんしんネットワーク」に登録した高齢者が行方不明となった際に、関係機関(区、警察署、地域包括支援センター)と協力機関(公共交通機関等21機関)が早期発見に向けて情報を共有しました。(延べ7回) ・地域での見守り支援を充実させるため、協力機関(公共交通機関等21機関)と協賛機関(区社会福祉協議会、医療機関、介護保険事業所等61機関)による連絡会を開催しました。(2月・約40機関) <p>(4) 権利擁護に関する講演会の開催 新規</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成年後見制度等の制度理解と利用促進を図るため、区民を対象とした講演会を実施しました。(1月・区公会堂・約450人参加) <p>なお、講演会の内容については、後見人活動を行っている司法書士による説明や、映画によるエンディングノートの啓発など、わかりやすく参加しやすいものとなるよう工夫しました。また、講演会開催時のロビーや区主催の行事など様々な機会を捉え、司法書士会や行政書士会等が作成した権利擁護に関するパンフレットを配布し、区民に身近な相談先を周知しました。</p>			
主な増減理由	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症啓発における、在庫活用によるリーフレット印刷の減【40万円】 ・権利擁護に関する講演会の開催における、区配付予算活用によるエンディングノート印刷の減【32万円】 		

4 区民スポーツ支援事業 重点	予算額	決算額	差引
		530万5千円	498万7千円
<p>区民が気軽に参加でき、「する・観る・支える」をテーマとした生涯スポーツを始めるきっかけとなる事業を推進するため、団体の活動に対し支援を行いました。</p> <p>(1) 体育協会支援事業 ・南区体育協会主催の地域貢献事業（みなっちランニングフェスタ・みなっちスポーツフェスタ）に補助金を交付しました。（12、2月）</p> <p>(2) スポーツ推進委員支援事業 ・スポーツ推進委員の活動に補助金を交付しました。また、地域での活動への支援を通じて、区民のスポーツ振興を図りました。</p> <p>(3) 区民スポーツ参加促進事業 ・東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて区民の機運を段階的に盛り上げました。 横浜商業高校での講演会・パラスポーツ体験会を引き続き実施するとともに、アスリートによるスポーツ体験教室を拡充しました。（11～2月・4回・南スポーツセンター、横浜商業高校） ・幼少期からスポーツに親しめる環境づくり、健康づくりを目指すため、区内の幼稚園児・保育園児が参加するスポーツイベント「第2回 あつまれ!みなっちげんきっず」を3回実施しました。（6月・日枝小・100人、9月・六つ川台小・144人、南スポーツセンター・154人） また、区民への機運醸成のため、「あつまれ!みなっちげんきっず」写真展を開催しました。（10月・区役所1階多目的ホール・オリンピック・パラリンピック、ラグビーワールドカップ展示と同時開催、1～2月・区役所1階区民ギャラリー）</p> <p>(4) 区民体力づくり事業（南の丘トレイルウォーキング） ・アップダウンを含む10km以上の健脚者向けトレイルコースを設定し、区民の体力づくりを目的とした事業として実施しました。（11月）</p>			
主な増減理由	・区民スポーツ参加促進事業において、イベント招致の選手を変更したことによる減【36万1千円】		

3 賑わい

1 南区あったかいふるさとまつり事業 重点	予算額	決算額	差引
		955万円	851万9千円

それぞれに特徴あるまつりを通じて、区民相互の交流促進、郷土愛の深化、文化活動の推進、健康増進等を目的とした、いきいきとした区づくりを推進しました。

(1) 南まつり補助事業

- ・区民相互の交流を促進するとともに、「子どもも大人も楽しめる」まつりとして、蒔田公園にて2日間のイベントを開催する予定でしたが、台風の接近に伴い安全面を考慮し、中止としました。(7/28~29・蒔田公園)なお、絵どうろうコンテストの表彰式を南区役所で執り行いました。(7月)

(2) 南区桜まつり補助事業

- ・春の風物詩として多くの方が楽しめるよう、大岡川プロムナードのライトアップを実施しました。(H30/3~4月・延べ150,000人来場)
- ・第28回南区桜まつりを開催しました。(H30/4月・蒔田公園・9,000人参加)
- ・桜まつり前日にイベントを開催し、桜まつりのPRとミニコンサート、ごみ分別キャンペーンを実施しました。(H30/4月・蒔田中学校・100人参加)
- ・第29回南区桜まつりを開催しました。(H31/3月・蒔田公園・9,000人参加)
- ・桜まつり前日にイベントを開催し、桜まつりのPRとミニコンサート、ごみ分別キャンペーンを実施しました。(H31/3月・蒔田中学校・200人参加)

【参考】南区4大まつり

- (1) 南区桜まつり(3~4月)
- (2) 南まつり(7月)
- (3) いきいきふれあい南なんデー(10月)
- (4) 南区文化祭(10~11月)

主な増減理由	・南まつり補助事業における、まつり中止に伴う補助金の返還による減【398万9千円】 ・イベント等における、暑さ対策の実施による増【295万8千円】
--------	--

2 魅力発信・賑わいづくり事業	予算額	決算額	差引
		270万円	223万2千円

区の花「さくら」を中心とした、南区の魅力の向上や発信に取り組みました。

(1) 魅力向上の取組

- ・区内の小学生を対象とした、区の花さくらに親しむための出前講座(7、11、3月・日枝小・1クラス)や、区民まつりでのさくら普及啓発ブース出店(4月・約200人参加)など、機をとらえた区の花「さくら」の普及啓発活動を実施しました。
- ・大岡川プロムナード再整備工事で伐採した桜の材を区民の皆様に提供する「さくらの記憶」事業を実施しました。(応募9件、配付9件)。
- ・区の花「さくら」普及啓発グッズを作成し、イベント参加者の方へ配布しました(トートバッグ、箸・箸袋セット)。
- ・平成27年度に決定した「みなみやげ」の認知度向上のため、南区の桜まつり、文化祭、新年賀詞交歓会で出張販売の機会を設けました。

(2) 魅力発信の取組

- ・桜の季節に向けて「南区ガイドマップ」の内容を一部更新し、区内地下鉄各駅、区内公共施設等に配架しました。また、京急電鉄(株)の協力により区内のみならず区外の主要駅にも配架しました。(40,000部)
- ・南区のビジュアルイメージを発信するためのフォトブックを作成・ウェブ上に公開し、「南区ガイドマップ」にQRコードを掲載し、アクセスできるようにしました。
- ・区内各所に設置されている案内サインの中で、盤面情報が古いものについては撤去を行いました。(1か所)

主な増減理由	・魅力発信の取組における、委託の見積もり合わせによる残【61万4千円】
--------	-------------------------------------

<参考> 区局連携促進事業

大岡川鶴巻橋そば公衆トイレ建替え事業	予算額	決算額	差引
		4,377万6千円	4,377万6千円

老朽化した鶴巻橋公衆トイレの再整備を引き続き進めました。

解体及び新築工事

- ・老朽化した鶴巻橋公衆トイレの解体(7月)及び新築工事を行いました。(1月・供用開始)
- また、新築工事に必要な舗装整備及び樹木撤去を行いました。

3 みなみ商店街いきいき事業	予算額	決算額	差引
		215万円	246万1千円

地域活性化を推進するため、地域とのふれあいや賑わいを創出し、魅力ある商店街づくり及び商店街の活性化を図りました。

(1) 商店街活性化イベント助成事業

- ・商店街が中心となり実施するイベント事業に対する補助金を交付することにより、地域とのふれあいや賑わいを創出し、魅力ある商店街づくり及び商店街の活性化を図りました。(4団体・6事業)

(2) 商店街活性化支援事業

- ・南区内の商店街をより広く区民の皆さまに周知する場として、南区商店街連合会と連携し、「商店街朝市」を開催しました。また、他事業と連携するなど、より多くの集客に繋がる内容で実施しました。(6月・区役所・1,000人、10月・大岡健康プラザ・強風のため中止、2月・区役所・3,000人)
- ・商店街の方が講師となって、専門店ならではの商品知識や情報を地域住民に提供するユニークなゼミナール「まちゼミ」を開催しました。参加者に、様々な生活の知恵などを伝授し、喜んでいただくことで、商店街店舗同士の連携強化と顧客リピーター作りを進めました。(2月)
- ・平成27・28年度に購入した商店街イベント時における装飾物品を区内商店街へ無償貸付し、賑わいイベントの一助としました。
- ・平成29年度より開始した、商店街のイベント等の応援をいただく「商店街サポーター」の募集や活動の周知、また、商店街等地域貢献促進事業をより推進するため、広報活動による支援を行いました。活動の推進のため、より一層の周知を行い、新たに地域との関係構築ができるよう支援しました。 **地域**

主な増減理由 ・商店街活性化支援事業における、商店街朝市の会場設営委託の増[44万7千円]

4 区民文化活動支援事業	予算額	決算額	差引
		155万円	153万2千円

区民が主体となる実行委員会に補助金を交付し、南区文化祭を実施しました。また、区民が行う文化活動を幅広く支援するため、南区文化賑わい支援補助金を交付しました。

(1) 南区文化祭支援事業

- ・文化祭を実施する実行委員会に補助金を交付しました。
(区民創作作品展：10月・南センター・29団体、みんなの合唱祭：10月・みなみん(南公会堂)・16団体、区民ステージ：11月・みなみん(南公会堂)・23団体、フラ フェスタ：11月・みなみん(南公会堂)・20団体参加)

(2) 南区文化賑わい支援事業

- ・区民の文化活動の活性化または賑わいの創出のため、活動団体が自主的・主体的に企画、実施する事業について、補助金交付による支援を行いました。(4団体)

5 みなみ多文化共生推進事業 重点	予算額	決算額	差引
		835万3千円	834万3千円

区内で暮らす外国籍等の住民と地域社会が共に暮らしやすいまちづくりを進めるため、区役所やみなみ市民活動・多文化共生ラウンジにて情報提供や生活相談等を行いました。また、区内で行われるイベント等への通訳派遣・チラシの翻訳、また、ごみ集積場所の啓発看板及びチラシを多言語で作成しました。

(1) 外国人共生支援事業

- ・弁護士・教育関係者等の専門家による多言語相談等を行いました。
- ・区内で行われるイベント等への通訳派遣を行いました。
- ・自治会町内会や区の事業のチラシなどの翻訳を行いました。

(2) 学校を核にした多文化共生事業

- ・外国籍等児童が多い小学校が行う多文化共生に資する取組を支援するため、各校のニーズに応じて、多言語ボランティアを配置しました。(5～3月・南吉田小、日枝小、石川小、中村小、蒔田小、太田小・70回実施)

(3) キッズ・はまっ子通訳翻訳サポート事業 **新規**

- ・放課後キッズクラブ及びはまっ子ふれあいスクールを利用する日本語が十分に習得できていない外国籍等児童や保護者を支援するため、文書の翻訳等を行いました。(中国語・フィリピン語・タイ語等・29回)

(4) 通訳ボランティア配置事業

- ・通訳ボランティアを区役所窓口へ配置しました。(中国語:週5回(午後)、英語:週2回(全日))
- ・外国籍等の住民のための「南区役所活用ガイド」(英語・中国語)を発行し、転入者や希望者へ配布しました。

(5) 多言語による子育て支援事業

- ・日本語や日本の文化に不慣れで情報が伝わりにくい外国籍等の親子に対する子育て支援を行いました。乳幼児健診時の通訳派遣(英語・中国語・タガログ語)のほか、母子保健コーディネーターモデル事業実施に伴う各種通知文の翻訳等を行いました。

(6) 不適正ごみ排出防止対策事業

- ・不適正排出防止ステッカー(英語・中国語・ハングル)などを作成して配付しました。
- ・外国籍等の住民向け分別教材を活用し、日本語教室などでの出前講座で使用しました。

<参考> 区局連携促進事業

外国籍等生徒に向けた放課後学習サポート事業	予算額	決算額	差引
		189万3千円	189万3千円

教科指導等が必要な外国籍等生徒のため、教育委員会事務局、みなみ市民活動・多文化共生ラウンジ等と連携して学習支援を行いました。

外国籍等生徒に向けた放課後学習サポート事業

- ・区内中学校に通う外国籍等生徒を対象に、みなみ市民活動・多文化共生ラウンジで放課後を利用した学習支援教室を開催し、教科学習等の補習を実施しました。(43回・平均25人参加/回)
- ・学習支援教室の運営にあたり、学習を支援するサポーターの確保や定着のため、養成講座やスキルアップ研修を実施しました。(8～3月・5回)

<参考> 区局連携促進事業

「多文化共生コミュニティづくり」のモデル実施	予算額	決算額	差引
		350万円	350万円

外国籍等の住民が急増する地域において、多文化共生のまちづくり支援をモデル事業として行いました。

多文化共生コミュニティづくり事業

- ・みなみ市民活動・多文化共生ラウンジのコーディネート機能の強化を通じて、多文化共生のコミュニティづくりを支援するため、国際局や教育委員会事務局、横浜市国際交流協会等と連携し、主に来日初期の外国人に向けて日本の生活ルールなどを体系的に取りまとめた「南区生活のしおり」の新規作成・配布(8月)や生活ガイダンスの実施(9月～)など地域で暮らす外国籍等の住民と地域社会のニーズに応じた取組を行いました。

6 みなみのみらい計画推進事業 重点	予算額	決算額	差引
		493万4千円	478万7千円

南区運営方針を策定し、広く区民に周知しました。また、地域福祉保健課題の解決を図るため関係団体の連携・強化について検討を行うとともに、第3期南区地域福祉保健計画を推進するため、計画推進状況概要版の発行やイベントでの計画啓発を行い、区民と協働により計画を推進しました。南区統計概要を発行し、区政情報の提供をしました。また、子どもたちが環境問題に興味を持つ機会を提供するとともに、身近な緑の維持・保全に取り組みました。

(1) 区政推進事業

- ・南区運営方針の策定や区連絡調整業務を進めました。
- ・都市計画マスタープラン南区プラン改定にあたり、改定素案に対し募集した市民意見を踏まえた改定原案を公表し(6月)、改めて意見募集を実施しました。(7月・意見数29件)
- ・都市計画審議会へ付議し、改定南区プランを公表しました。(2月)

(2) 「みなみの福祉保健」を考える懇談会運営事業

- ・「みなみの福祉保健」を考える懇談会を開催しました。(3月)

(3) 南区地域福祉保健計画推進事業

- ・地域福祉保健計画の推進にあたり専門家のアドバイスを受けながら、福祉保健関係者による協議や情報共有を行い、地域福祉保健課題解決に向けた基盤づくりを行いました。
<29年度：南区元気な地域づくり推進事業で実施>
- ・地域福祉保健計画の「区全体計画」と「地区別計画」をつなぐ場として、南区地域福祉保健計画推進連携会議(愛称：みなっち茶屋)を開催しました。(1月・64人)
- ・区民に広く計画の成果を周知し、地域福祉の良好な活動を共有するため、様々な広報媒体を通じた広報活動を行いました。(5、12、1月・広報よこはま南区版、2月・地域情報誌掲載)

(4) 統計概要の作成

- ・統計概要「統計で知る みなみ」の作成を行いました。(12月)

(5) 温暖化対策普及啓発事業

- ・民間企業がCSR活動()として提供する出前講座を区内市立小学校に紹介し、講座開催を支援しました。(2月・別所小・2クラス)
企業が社会的責任を果たし社会とともに発展していくための活動
- ・地域のグループ等に対し緑のカーテン栽培物品を提供しました。(4月・20グループ・228人)
また物品提供時に参加者同士が知識や経験など自由に意見交換できる場を設けることで、温暖化対策とともに地域のつながりづくりを図りました。(4月・18グループ・24人) **地域**

(6) 緑花推進事業

- ・小学校校庭の芝生の維持管理を実施・支援しました。(5～3月・6校)
- ・普及花「芝桜」をはじめとした花の種・苗等を、区内小・中学校、保育園、公園愛護会へ配付しました。(9～3月、小・中学校12校・保育園5園への花苗等の提供、公園愛護会関係者等へサクラソウの苗300株)

4 こども

1 すこやか子育て支援事業 重点	予算額	決算額	差引
	656万円	638万7千円	17万3千円
<p>養育者の子育て力の増進と相談体制の充実を図り、地域ぐるみで子育てを応援し養育者支援を強化しました。また、地域での見守りと子育て支援によって、児童虐待の未然防止や障害児の地域からの孤立を防止しました。</p> <p>(1) 養育ネットワーク事業 ・主に1歳未満の第1子の養育者の育児不安解消と仲間づくりを目的に、区内11会場での教室を開催しました。(赤ちゃん学級：110回・延べ1,575組・3,224人参加)</p> <p>(2) 土曜両親教室 ・就労妊婦と配偶者のため、出産後に夫婦で行う育児を学ぶ教室を土曜日に開催しました。(6、9、12、3月・延べ96組・192人参加)</p> <p>(3) 児童虐待予防事業 ・児童虐待の予防につながるよう、養育者に対する心理的な支援に資する個別相談を行いました。(個別相談：24日間・延べ74人) ・アドバイザーの助言のもと、子ども食堂などの活動に取り組む団体の交流会を開催し、居場所づくり活動を支援しました。(9月・12団体・17人参加) また、南区子どもの居場所マップを作成して、居場所の活動の周知に取り組みました。(2月・10,000部)</p> <p>(4) 障害児地域交流活動推進事業 ・障害児の余暇支援と障害児理解の普及啓発・情報発信を目的に「学齢障がい児夏休み支援運営委員会」に補助金を交付し、夏休み期間中の余暇活動支援を行いました。(サマーフレンド事業：4日間・障害児47人・家族44人・ボランティア77人参加)</p> <p>(5) 子育て支援情報誌作成 ・子育てに関する相談窓口を紹介するリーフレットや、地域の子育て情報をまとめた「子育て応援マップ」を作成しました。(リーフレット25,000部、子育て応援マップ5,000部)</p> <p>(6) 地域子育て支援イベント ・地域の子育て支援に関する普及啓発をいきいきふれあい南なんデーで行いました。(10月)</p> <p>(7) 保育園応援隊 ・つながり清掃月間における美化活動等のボランティア活動を通じ、地域の方々と保育園児が交流し、児童の健全な育成を図るとともに、地域との連携を深めました。 ・保育園児が地域の高齢者サロン等を訪問して手遊び等で交流したほか、運動会や感謝会にご招待するなど、地域の多世代間交流を深めました。 地域 新規</p> <p>(8) みなっち杯えきでん交流事業 ・区内の認可保育園の園児同士の交流を深め、保育園間のネットワークづくりを進めるため、えきでん大会を開催しました。(11月・清水ヶ丘公園・24園・371人参加)</p> <p>(9) 保育園防災力向上事業 ・保育園等の防災対応力を強化するため、研修会を実施しました。(1月・22園・38人参加) また、市立保育園の防災備品の整備を進めました。</p> <p>(10) 「みなみ・育なび」運営事業 ・福祉保健センター広報紙等の情報を活用し、パソコンやスマートフォン向けの子育て情報等を提供するWEBサイト「みなみ・育なび」を運用しました。平成30年度末で南区ホームページに統合済みです。</p>			

2 青少年育成事業	予算額	決算額	差引
		472万1千円	463万4千円

地域の青少年の健全育成を推進するため、団体等の活動に対し補助金を交付しました。

- (1) 青少年指導員事業
 - ・ 青少年指導員の活動のための補助金を交付し、地域での活動を通じて青少年の健全育成を図りました。
- (2) 青少年活動補助金
 - ・ 異年齢児間交流のための「ふれあいキャンプ事業」(7月・120人参加)や青少年参画を図りながら実施する作文募集・表彰・朗読発表の「ボイス・オブ・ユース事業」(11月)に対し、青少年指導員協議会へ補助金を交付しました。
 - ・ ボイス・オブ・ユースの入選作品の作文集を自治会・町内会長へ配布・紹介し、地域とのつながりを深めました。 **新規** **地域**
 - ・ 区民少年野球大会を実施する南区区民少年野球大会実行委員会へ補助金を交付しました。(5～7月)
- (3) 学校・家庭・地域連携事業
 - ・ 学校、家庭、地域の相互の情報共有・連携促進を図るため、区内8中学校区の学校・家庭・地域連携事業実行委員会が行う事業に対し、補助金を交付しました。(5月)
- (4) 学校と地域の交流応援事業 **新規** **地域**
 - ・ 区内の学校の生徒と学校周辺の地域住民との交流活動を促進するために、学校と地域の調整や、物品の提供を行いました。(対象校：横浜総合高校・9、11月・地域清掃活動の実施、10～1月・生徒に地域の課題解決策の提案を依頼する「横総生にオファーです」の実施)

地域の力

1 地域の力応援事業 重点	予算額	決算額	差引
		435万円	371万2千円
<p>地域の実情に応じた支援を行い、地域活動の好循環につなげられるよう、地域情報の提供や好事例の発信、全職員の意識醸成など、地域の力を応援するための基礎となる取組を行いました。</p> <p>(1) 地区別情報収集・提供事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成29年度に作成した地域別データ集について、地域における活用例やニーズを踏まえ、データを追加し、区ホームページで情報提供しました。 <p>(2) 地域連携情報発信事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 担い手後継者づくり、他の自治会町内会や学校等との連携による取組などの好事例を地域情報誌「キラリ」及び区のホームページで積極的に発信しました。(11、2月) 職員のさらなるレベルアップによる区役所の地域支援機能の充実を目指し、研修を実施しました。 (全職員向け：5～6月・157人受講)(区専門職向け：7月・34人受講) (地域支援チーム向け：5月・68人受講 11～12月・32人受講) <p>(3) コーディネーター派遣事業 新規</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域資源発掘・連携支援、地域の居場所づくり支援のためコーディネーターを派遣しました。 ア 地域資源発掘・連携支援のため、団体の主体的・継続的な活動及び区民利用施設等の連携を促進することを目的に、活動に対する助言等を行う専門家の派遣を行いました。 (地域資源発掘支援：1団体・3回派遣 施設間連携支援：1件・2回派遣) イ 地域の居場所づくり支援のため、空き家空き店舗等を活用した常設型のサロンの立ち上げを検討する3団体に対し、事業化に向けたプランニングの支援を行う専門家を派遣しました。 また、地域の居場所の必要性や継続運営の手法等についてのセミナーを開催しました。 (11月・みなみん(南公会堂)・104人) 			
主な増減理由	コーディネーター派遣事業において、コーディネーターの派遣が当初見込みより少なかったことによる減[77万6千円]		

地域の力を応援する視点での事業の工夫(11事業 **地域** 【再掲】)

担い手後継者の確保、若い層への地域関心度向上、地域の取組意欲の一層の盛り立てに向けて、自治会・町内会や各種団体、企業、学校、施設等に対し、出会いつながる場面を設定し、お互いの活動を理解して、ちょっと協力し合える関係づくりを支援できるような事業を工夫しました。

60代から始める男の健康講座 (P6 働き・子育て世代からの健康応援事業)

かいご予防サポーターと地域の人材の連携 (P7 いきいきシニア健康応援事業)

商店街等地域貢献促進事業 (P11 みなみ商店街いきいき事業)

緑のカーテン事業 (P13 みなみのみらい計画推進事業)

保育園応援隊 (P14 すこやか子育て支援事業)

ボイス・オブ・ユース入選作品の地域へ紹介事業 (P15 青少年育成事業)

学校と地域の交流応援事業 (P15 青少年育成事業)

つながり清掃ウォーク (P19 みなみチャレンジごみ減量事業)

単身世帯向けごみ分別案内配布 (P19 みなみチャレンジごみ減量事業)

入居者向け町内会加入申込書の配布 (P20 地域住民との連絡調整事業)

幼稚園児等交通安全教室 (P21 地域で守ろう私の安全安心事業)

<参考> 元気な地域づくり事業

南区元気な地域づくり推進事業 (みなみ・地域づくり大学校を含む)	予算額	決算額	差引
		554万9千円	381万9千円
<p>自治会町内会をはじめとする地域で活動する様々な団体や人々と区役所が連携して、地域課題の解決に向けた取組を支援しました。</p> <p>(1) 地域活動補助金事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域による地域課題解決に向けた取組を支援するため、みなみ・ちからアップ補助金事業や地域福祉保健計画チャレンジ支援事業の実施にあたり、相談・受付を行い、交付決定を行いました。(10件) また、補助金交付団体による活動発表会を行いました。(2月・みなみ(南公会堂)・110人参加) <p>(2) 協働の地域づくり推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域課題についての地域と行政の意見交換や情報共有を行う場として、地区連合町内会が主催する地区懇談会の開催を支援しました。(5～6月・16地区・835人参加) <p>(3) 地域人材づくり事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 自治会町内会活動等の次代の担い手となる人材育成のための講座(みなみ・地域づくり大学校)を実施しました。(6～12月・2地区・125人参加)また、区民が企画する講座等を実施しました。(5～3月) 地域施設間連携事業(まるごとみなみ・5事業)の推進により、市民利用施設間の連携促進や情報交換を行いました。(5、12月・全体会実施)引き続き、地域の人材発掘やつながり作りを進める講座を実施しました。(8～3月) 			
主な増減理由	・補助金交付団体が当初見込みより少なかったことによる残【110万円】		

<参考> 区環境未来都市推進事業

大規模団地の活性化支援	予算額	決算額	差引
		100万円	99万4千円
<p>高齢化が進む南永田団地において、空き店舗活用による多世代交流の場づくり等を支援することにより、地域の活性化を図りました。</p> <p>地域の活性化支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域住民主体のまちづくり運営委員会が取り組む、空き店舗活用による多世代交流拠点の開所に向けて支援しました。 地域の活性化に向けて、区役所や地域・学校等関係団体の間での課題の共有や、具体的取組に向けた検討・調整を行いました。 <p>なお、地域住民主体のまちづくり運営委員会については、特定非営利活動法人永田みなみ台 ぽっとサライとして、設立登記されました。</p>			

着実に取り組む事業

1 区庁舎環境整備等事業	予算額	決算額	差引
		281万4千円	598万9千円
<p>区民に快適な区役所づくりを推進するため、職員の資質向上を図る研修等の実施や区役所業務の改善を行ったほか、来庁者にやさしい庁舎環境を整備しました。また、申告時期に身近に相談ができる機会を設け、納税者の利便性向上を図りました。</p> <p>(1) 職員の資質向上事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・改革推進委員会等の活動を通じて、区役所業務の改善に努めました。 ・職員向けCS・ES研修を実施しました。(7～1月) <p>(2) 区庁舎環境整備事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・必要度・緊急度に応じて庁舎環境の改善を図りました。 <p>(3) 市税啓発事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・来庁者が集中し混雑、混乱する申告時期に、専門家による申告相談を実施するとともに、窓口での不要な待ち時間を解消するため案内及び相談等を行いました。(1～3月) <p>(4) 庁舎移転に対応したバス乗継広報</p> <ul style="list-style-type: none"> ・南区西部地域の皆様に、来庁時のバス乗継の利用案内を配布することなどにより、円滑な利用を図りました。(5、2月) 			
主な増減理由	・区庁舎環境整備事業における、防犯カメラ増設、非常呼出装置の設置及びAED購入による増 【 319万4千円】		

2 広聴広報相談事業	予算額	決算額	差引
		949万7千円	933万1千円
<p>区民のご意見ご要望を伺い区政・市政に反映させる広聴や、専門相談を実施しました。また、広報よこはま南区版などで区政情報を提供しました。</p> <p>(1) 専門相談事務費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・法律・司法書士相談などの専門相談を実施しました。 <p>(2) 広報関係事務費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「広報よこはま南区版」を発行しました。(月1回) <p>(3) 区民生活マップ発行事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区民生活マップを発行し、転入者や希望者へ配布しました。 <p>(4) 福祉保健センター広報・啓発事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「福祉保健センターからのお知らせ」を発行しました。(3月) 			

3 みなみチャレンジごみ減量事業	予算額	決算額	差引
	457万8千円	404万4千円	53万4千円
<p>横浜市一般廃棄物処理計画（ヨコハマ3R夢プラン）の南区削減目標に向け、区民・事業者・区役所が目標を共有し、協働のもと、ごみの発生抑制と減量化を進め、きれいな街づくりを推進しました。</p> <p>（1）ヨコハマ3R夢プラン推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ごみ減量モデル地区を4地区設け、2つの重点分野（分別徹底（その他の紙）、食品ロスの削減）を設定し、地域住民の減量行動のきっかけとなる取組を推進しました。 ・食品ロスの削減に向けた「食べきりクッキング教室」を開催（5～6月・4回、10～11月・3回）し、食品の回収・活用に向けた地域のイベント等での自主的な取り組みを支援しました。 ・地域イベント等で排出される使い捨て容器の削減に向けたリユース食器のPR、利用の支援をしました。（6件） ・区民の集まる場所（スーパーの店頭・各種イベント・キャンペーン）での啓発活動を行いました。 ・幼稚園・小学校に訪問して出前講座を行いました。（12件） ・地区3R夢会議を4地区ずつ4回開催しました。（8～10月） ・宅建協会南支部の協会加入店舗（162店舗）に協力を依頼し、ワンルーム・単身者の物件契約時に、入居者に対して単身世帯向けごみ分別案内を配布してもらい、ごみ出しルールの啓発に努めました。 新規 地域 <p>（2）クリーンタウン、不法投棄・不適正排出防止事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・美化推進重点地区で月2回（弘明寺）、月4回（南区庁舎周辺）、ポイ捨て防止や歩行喫煙禁止等の啓発活動・ポイ捨てごみの清掃活動を行いました。 ・大岡川プロムナードの清掃活動を桜・落葉期の時期に、障害者地域作業所へ委託しました。（4、10、11、12月） ・2020年のオリンピック・パラリンピック開催を見据えて、地域、事業者、学校などの輪が広がることを目指す清掃活動「つながり清掃ウォーク」を行いました。（11月・約3,200人参加） 新規 地域 ・ごみと資源物の分け方・出し方について、啓発動画のDVDを作製し地域に配付するとともに、外国籍等の住民向けに集積所の掲示物に2次元バーコードを表示し、You Tubeで視聴できるようにしました。 <p>（3）南区環境にやさしい街づくり推進本部会議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・推進本部会議・功労者表彰式を実施しました。（6月・区役所・43人参加） 			
主な増減理由	<ul style="list-style-type: none"> ・ヨコハマ3R夢プラン推進事業における、啓発物品や資料の在庫活用による減【86万円】 ・クリーンタウン、不法投棄、不適正排出防止事業において、外国籍等住民向けに集積所の掲示物を作成したことによる増【41万6千円】 		

4 地域住民との連絡調整事業	予算額	決算額	差引
		298万8千円	327万3千円
<p>地域住民組織である自治会町内会との連絡調整等を円滑に進めるため、自治会町内会への依頼業務の負担軽減対策としての配送業務の委託や、自治会町内会長感謝会等を実施しました。</p> <p>(1) 配送業務の委託</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区等が自治会町内会に回覧・掲示依頼する印刷物等を指定する場所に配送しました。(8、12月を除く各月・206か所) <p>(2) 自治会町内会長感謝会の開催及び永年役員表彰の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治会町内会を代表し、運営を総括する会長の日ごろの労苦に感謝の意を表すため、感謝会を開催するとともに、5年在職の会長に対し、感謝状と記念品を贈呈しました。(3月・103人参加・感謝状贈呈6人・記念品贈呈19人) ・自治会町内会の役員を永年務めた方に区長感謝状を贈呈しました。(39人) <p>(3) 自治会町内会加入促進 新規 地域</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宅建協会南支部の協会加入店舗(83店舗)等の協力により、物件契約時に入居者に対して、自治会町内会の加入申込書を配布し、加入率向上に努めました。 南区連合町内会長連絡協議会と協力し、若い世代(子育て世代)向けにデザインした加入促進リーフレットを作成し、様々な事業の場で配布することで加入率向上に努めました。 <p>(4) 自治会町内会区域図作成 新規</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最新の土地建物の情報を基にした自治会町内会区域図を更新(3月)し、加入促進及び地域支援業務に活かしました。 			
主な増減理由	・配送業務の委託費用の増【 59万6千円】		

5 地域で守ろう私の安全安心事業	予算額	決算額	差引
		805万9千円	779万3千円

「安全で安心して暮らせる街づくり」のために、交通安全の啓発、放置自転車対策及びスクールゾーン対策、地域の自主的な防犯活動支援及び防犯意識を高める啓発を実施しました。

また、消費生活推進員が消費生活に関する知識を身につけ、消費者の生活安定と向上のために活動が展開するよう支援しました。

(1)交通安全支援事業

- ・小学生を対象とした「はまっ子交通あんぜん教室」を実施しました。(4～11月・区内市立小)また、地域の交通安全教室等の支援を行いました。
- ・各種交通安全運動、自転車マナーアップ等の啓発キャンペーンを実施しました。(区内各所・16,100人参加)
- ・交通安全区民総ぐるみ大会を開催し、交通安全功労者表彰を実施しました。(9月・みなみん(南公会堂)・372人参加)
- ・幼稚園児等とその保護者を対象に交通安全教室等を実施し、地域で活動している交通安全母の会や学援隊などの活動紹介をしました。(10月・区内幼稚園2園・159人参加) **新規** **地域**
- ・南区交通安全対策協議会の運営を行いました。

(2)スクールゾーン対策事業

- ・各小学校のスクールゾーン対策として、路面表示等の新設・補修を行いました。(2、3月)スクールゾーン対策組織に助成金を交付しました。(7月)

(3)放置自転車対策事業

- ・区内鉄道8駅に自転車等放置防止監視員を配置し、注意喚起を行いました。

(4)防犯啓発活動

- ・被害が増加している振り込め詐欺対策を引き続き強化するために、キャンペーン及び防犯教室を警察と連携するとともに、地域情報誌を活用した啓発を実施しました。

(5)地域防犯活動支援

- ・こどもの安全対策支援として、110番の家マップを刷新するとともに、昨年度と同様に新入学児童へ防犯ブザーを配布しました。(3月)
- ・自治会町内会への防犯物品の配布、みなっち号パトロール等を行いました。

(6)防犯情報提供等

- ・警察・消防・区役所と民間企業並びに地域の方々が連携を図り活動を推進するための南区安全安心まちづくり推進連絡会を開催しました。(6月・総会開催、11月・キャンペーン実施、2月・役員会開催)
- ・登録した区民へ防犯情報等をメール配信しました。

(7)消費生活推進員事業

- ・南区の消費生活推進員活動をサポートするために消費者保護等の関連情報の提供及び情報交換会を実施しました。(8回実施)
- ・悪質商法被害未然防止の出前講座を開催しました。(5回・約300人参加)
- ・活動内容の紹介、出前講座の申し込み方法などを盛り込んだ活動報告誌を発行し、各自治会・町内会に回覧、市民利用施設に配架しました。(1,000部) **新規**

6 食とくらしの衛生支援事業	予算額	決算額	差引
		95万円	92万2千円

区民が快適で安全な生活を送るため、食品衛生の普及、支援を行いました。また、衛生害虫やハチに関する知識や防除方法についての啓発、ペット飼育のマナー向上と災害時におけるペット対策の働きかけ、小学生等への動物の愛護やルール・マナーの啓発、高齢者施設への動物ふれあい活動を行いました。

(1) 食品衛生知識・衛生支援

- ・食品関係営業者、ボランティア給食関係者(いわゆる「子ども食堂」運営者等を含む。)、消費者等に対し、食品衛生の知識を深めるため、最新の食品衛生情報をふまえた講習会を実施しました。(23回実施済・1226人参加)
- ・食中毒予防キャンペーン等の場で、食品衛生に関する知識を深める内容のリーフレットや物品を配布し、消費者等の食中毒予防に関する意識を啓発しました。(9～10月・2回・300人参加)

(2) 衛生害虫等対策事業

- ・衛生害虫等に関する知識・防除方法について広く啓発を行うとともに、アシナガバチの巣駆除器材の貸出を行いました。また、広報よこはま南区版5月号にハチ及びカに係る啓発記事掲載)

(3) 人と動物との共生事業

- ・飼い主のマナーに関するリーフレット等の作成・配布を行いました。(1,500枚)
- ・災害時用ペットカードの作成し、配付を開始しました。
- ・犬のしつけ方教室(講演会)を開催しました。(9月・区役所・67人参加)

(4) 動物ふれあい(動物介在)活動推進事業

- ・ボランティア団体による高齢者施設等への訪問活動の支援(ボランティア動物適性判定会)を行いました。(5月・区役所・5組参加(5組合格)、11月・区役所・4組参加(4組合格))

資料 2

(2) 令和元年度南区個性ある区づくり推進費の執行状況について

令和元年度 南区個性ある区づくり推進費の概要

1 区分別総括表

(単位:千円)

区分	令和元年度予算	平成30年度予算	差引
自主企画事業費	99,011	102,861	1 3,850
統合事務事業費	46,818	32,410	14,408
統合事務費	32,622	32,410	212
統合事業費 2	14,196	0	14,196
区庁舎・区民利用施設管理費	549,144	545,673	3,471
合計	694,973	680,944	14,029

1 市民局の配分見直しによる減

2 平成30年度までは、自主企画事業費に含まれていた、各区共通で区の裁量が少ない事業費

2 内 訳

(1) 自主企画事業費

(単位:千円)

分野	令和元年度予算	説明
重点分野の事業	72,399	
減災	16,928	みなみ減災推進事業<重>
健やか	14,430	健やか元気応援事業 <重> 区民スポーツ支援事業<重> ほか2事業
賑わい	33,350	南区あったかいふるさとまつり事業<重> みなみ多文化共生推進事業<重> ほか4事業
こども	7,691	すこやか子育て支援事業<重> 青少年育成事業
地域の力	4,665	地域の力応援事業<重>
着実に取り組む事業	21,947	地域で守ろう私の安全安心事業 みなみチャレンジごみ減量事業 ほか4事業
計	99,011	20事業 (事業名の<重>は重点事業)

(2) 統合事務事業費

(単位:千円)

区分	令和元年度予算	説明
統合事務費	32,622	各区共通で区の裁量が少ない事務費
統合事業費	14,196	各区共通で区の裁量が少ない事業費
広報よこはま南区版発行事業	6,722	広報よこはま南区版発行に係る経費
専門相談事業	1,461	法律相談等の専門相談に係る経費
スポーツ推進委員支援事業	2,585	スポーツ推進委員の活動に係る経費
青少年指導員事業	2,095	青少年指導員の活動に係る経費
クリーンタウン事業	288	美化推進員の活動に係る経費
消費生活推進員事業	295	消費生活推進員の活動に係る経費
学校・家庭・地域連携事業	750	学校・家庭・地域の連携に係る経費
計	46,818	

(3) 区庁舎・区民利用施設管理費

(単位:千円)

区分	令和元年度予算	説明
区庁舎等	142,717	区庁舎・公用車等管理運営費
土木事務所	4,460	土木事務所管理運営費
公会堂	39,785	公会堂管理運営費
地区センター・スポーツ会館	159,525	地区センター(4館)・スポーツ会館管理運営費
青少年施設	7,893	こどもログハウス管理運営費
老人福祉センター	28,464	老人福祉センター(南寿荘)管理運営費
コミュニティハウス	89,913	コミュニティハウス(7館)管理運営費
スポーツセンター	37,952	スポーツセンター管理運営費
みなみ市民活動・多文化共生ラウンジ	29,594	みなみ市民活動・多文化共生ラウンジ管理運営費
その他施設(広場・遊び場)	1,341	子どもの遊び場遊具等安全点検委託料、子どもの遊び場等管理運営委託料、町のはらっぱ運営費等
区庁舎・区民利用施設修繕費	7,500	
計	549,144	

<参考>

(単位:千円)

	令和元年度予算	平成30年度予算	差引
区局連携促進事業	22,462	50,067	27,605
緊急時情報システム運用試行事業	558	898	340
「多文化共生コミュニティづくり」のモデル実施	5,000	3,500	1,500
大規模団地活性化支援事業	2,404	0	2,404
管理不全空家対応モデル検証事業	14,500	0	14,500
大岡川鶴巻橋そば公衆トイレ建替え事業	0	43,776	43,776
外国籍等生徒に向けた放課後学習サポート事業	0	1,893	1,893
南区元気な地域づくり推進事業 (みなみ・地域づくり大学校を含む)	4,979	5,549	570
区SDGs未来都市地域主体型事業	1,000	1,000	0
大規模団地の活性化支援	1,000	1,000	0

令和元年度 南区個性ある区づくり推進費自主企画事業の重点

令和元年度南区個性ある区づくり推進費自主企画事業費については、「減災」「健やか」「賑わい」「こども」の4つを重点に位置付けるとともに、これから先も「地域の力」を取組の核と位置付け、「地域の力」をより高められるよう予算編成を進めます。

取組にあたっては、部・課を超えた「横のつながり」による区役所の更なる一体化を進め、効率的・効果的に事業を実施し、地域の皆さまと「共感と信頼」をはぐくみながら「あったかい」と感じていただける南区を目指します。

重点分野1 減災

大地震、土砂災害等で大きな被害が想定される南区では、被害軽減に向けて、区民一人ひとりの自助対策をはじめ、共助力向上を支援し、地域防災力を充実させます。

【重点事業】 みなみ減災推進事業

重点分野2 健やか

幼少期からの食育の推進、働き・子育て世代からの生活習慣病予防や運動習慣の定着、介護予防などの取組を進め、いくつになっても地域で自分らしく暮らすことを目指します。また、区民のスポーツへの関心を高めます。

【重点事業】 健やか元気応援事業

【重点事業】 いきいきシニア健康応援事業

認知症早期対応・見守り支援事業

【重点事業】 区民スポーツ支援事業

【再掲】 みなみのみらい計画推進事業

重点分野3 賑わい

下町情緒あふれる商店街、南区4大まつり、歴史ある寺社や文化財、大岡川プロムナードや桜の名所など魅力ある資源を生かし、市内外からの誘客に取り組めます。

また、多文化共生のまちづくりを推進します。

【重点事業】 南区あったかいふるさとまつり事業

魅力発信・賑わいづくり事業

みなみ商店街等活性化事業

区民文化活動支援事業

【重点事業】 みなみ多文化共生推進事業

【重点事業】 みなみのみらい計画推進事業

重点分野4 こども

子どもを地域と共に見守ることや、多様な情報を発信することなどによる子育て支援や孤立防止、青少年の健全育成を進めます。

また、外国籍等の児童・養育者を支援します。

【重点事業】 すこやか子育て支援事業

青少年育成事業

【再掲】 みなみのみらい計画推進事業

【再掲】 みなみ多文化共生推進事業

【再掲】 区民スポーツ支援事業

「地域の力」

地域の実情に応じて地域活動を支援することで、地域の力を応援し、地域の皆さまと一緒に地域の活性化に取り組めます。

『「地域の力」応援事業』= 地域の力を応援するための基礎となる事業

地区別情報収集・提供事業

地域連携情報発信事業

コーディネーター派遣事業

「地域の力」を応援する視点での事業の工夫（23事業）

地域

担い手後継者の確保、若い層の地域関心度向上、地域の取組意欲の一層の盛り立てに向けて、自治会・町内会や各種団体、企業、学校、施設等に対し、出会いつなげる場面を設定し、お互いの活動を理解して、ちょっと協力し合える関係づくりを支援できるよう事業を工夫しました。

着実に取り組む事業

区庁舎環境整備等事業

広報広聴事業

みなみチャレンジごみ減量事業

地域住民との連絡調整事業

地域で守ろう私の安全安心事業

食とくらしの衛生支援事業

令和元年度南区個性ある区づくり推進費自主企画事業費 執行状況

新規 令和元年度新規事業

地域 「地域の力」を応援する視点での事業の工夫

1 減災

* ()内は実績。下線を付したものは今後の予定です

1 みなみ減災推進事業 重点 1,692万8千円 <平成30年度 1,329万9千円>
総務課 福祉保健課 高齢・障害支援課

災害時、自らの身を守るための「自助」意識向上のための防災啓発事業や自助共助支援事業、「共助」の取組である災害時要援護者支援事業、そして災害対応力の向上のための「公助」の取組である区災害対策本部及び災害医療体制の強化に取り組みます。

【自助】

(1) 防災啓発事業 65万1千円

- ・区民の自助意識向上のため、防災に関するフェア・講習会を実施します。(7、2月)
- ・自治会・町内会等の防災・共助意識向上のため「ご近助講座」を開催します。(5回実施済)
- ・防災・共助活動の担い手であることの意識付けのため「中学生講座」を開催します。(7月・蒔田中)
- ・小中学生等の若年層の防災意識を高めるため、市民防災センターのバスツアーを実施し、送迎の車中で拠点の取組みを紹介して、将来の地域防災活動の担い手の育成を支援します。(7月・蒔田中、太田小) **新規** **地域**
- ・地域での工夫した取組等を紹介するリーフレットを作成し、防災意識の向上を図ります。(～3月) **新規**

(2) 自助共助支援事業 735万円

- ・家具転倒防止器具、ガラス飛散防止フィルムの設置の一部を助成します。
ア 家具・・・件数：50件<前年同> (4～11月)
補助対象額：8,000円<前年同>
補助率：重点対策地域 10分の9<前年同> 一般地域 3分の2 <前年同>
- イ ガラス・・・件数：15件<前年同> (8～11月)
補助対象額：15,000円<前年同>
補助率：3分の2 <前年同>
- ・地震、土砂災害等の被害想定区域などをまとめた防災マップを作成し、全戸配布します。(～9月) **新規**
- ・区民向け防災啓発用冊子をやさしい日本語等によりわかりやすい内容で更新します。(～3月)
- ・南区防災計画(震災対策編)の改訂をします。(9月) **新規**

【共助】

(3) 災害時要援護者取組支援事業 332万3千円

- ・地域の支援者を対象とした事業説明会を開催しました。(8月・2回開催、53自治会町内会107人参加) **地域**
- ・要援護者名簿の提供に向けた手続(データ整理、同意確認等)を進めます。(7月～)
- ・要援護者支援の取組を進める自治会町内会に活動支援物品を配布します。

【公助】

(4) 災害対策本部運営強化事業 286万円

- ・迅速な区本部運営ができるよう職員用備蓄を更新します。(～3月)
- ・土砂災害時に開設する避難所の環境改善のため、備品等を充実させます。(～12月)
- ・土砂災害時に迅速な広報・注意喚起及び連絡体制の確保ができるよう、即時避難勧告対象世帯向け「音声情報システム」等の適切な通信環境を維持します。

(5) 地域防災拠点運営強化事業 200万円

- ・地域防災拠点の防災倉庫内の資機材の点検修理を行い、災害に備えます。
- ・地域防災拠点の訓練内容充実のために、資機材取扱に関する研修を実施します。
- ・地域防災拠点用の区割り・衛生対策等の掲示シートを作成し配布します。(～9月) **新規**

(6) 災害医療体制強化事業 74万4千円

災害時においても安定した医療を提供できるよう、南区災害医療物品等研修会(7月・27人)、南区医療救護隊訓練(11月)、南区災害医療連絡会議(3月)を開催するとともに、医療関係物品の整備、区民への広報を行い、災害医療体制の充実を図ります。

関連する 主な事業	<p>地域の防災担い手育成事業【総務局事業】(市合計1,998万円)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町の防災組織向けに、区が独自で企画する研修等に必要な予算を配付します。 ・町の防災組織のメンバーを対象にした研修の実施、及びそのフォローアップとして、地域にアドバイザーを派遣し、防災力向上に向けた取組を支援します。 ・市民防災センターで、市民の自助共助推進のための研修を実施します。 <p>○ 災害時要援護者支援事業【健康福祉局事業】(市合計2,635万円)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害時に要援護者の安否確認や避難支援等の活動が円滑に行われるよう災害時要援護者名簿の提供をはじめ、地域での自主的な支えあいの取組を支援します。
--------------	--

<参考> 区局連携促進事業

緊急時情報システム運用試行事業	55万8千円【総務局】	総務課
<p>・即時避難勧告時に利用している「音声情報システム」を、自治会町内会との連絡及び情報共有にも活用し、効率的・効果的な情報伝達体制を確立し、自助共助の醸成、地域防災力の向上を図ります。</p>		

1 健やか元気応援事業 重点 496万6千円 <平成30年度 451万4千円>
福祉保健課 高齢・障害支援課 保険年金課

高齢化が進む中で、健康寿命を延ばし、地域の中で生き生きと自立した生活を送る区民が増えることが非常に大切です。若い時期からの生活習慣病の予防、日常的な運動習慣、健康診断の受診勧奨等を通じ、心身の健康づくりを応援します。

- (1) 働き・子育て世代の健康づくり推進事業 168万7千円
 - ・食育関係者との意見交換(2月)や食育普及啓発のイベント(6月・205人参加、10月)、ヘルスマイト便りの発行(7月・7,500部)
 - ・糖尿病の発症や悪化を予防するため糖尿病講座(9月)を実施します。
 - ・生活習慣を見直すための相談やイベントの開催(2月)など健康習慣定着に向けた風土づくりを行います。
 - ・保健活動推進員と協力して地域や団体、企業、施設等へ出張し生活習慣改善のミニ講座を行います。(6回) 地域
 - ・がんや結核、感染症、熱中症対策、禁煙などの健康情報発信や啓発を行います。
 - ・区民が運動習慣を身に付けることができるウォーキング講習会を実施します。(10月)
また、保健活動推進員が主催する地域でのウォーキングの会の運営を支援します。(運営研修会5月・32人参加、事前研修会8回)
- (2) 特定健診受診率向上事業 22万8千円
 - ・特定健診未受診者に直接電話すること(8月)に加え、事業者団体に出向き受診を勧奨(6~9月)します。
- (3) 自殺対策事業 67万1千円
 - ・「自殺対策基本法」「自殺総合対策大綱」や、『横浜市自殺対策計画』を踏まえ、関係機関及び区役所各課と連携を取りながら自殺対策に取り組みます。
 - ・自殺対策強化月間に、南図書館や区役所で啓発キャンペーンを実施します。(9、3月)
- (4) 障害者サポート事業 63万円
 - ・障害者の健康に関する知識の習得や運動の機会提供のために、南スポーツセンターを会場に講義や運動実技の講座を開催します。(11回)
また、今年度は重度障害者への対応を拡大し、障害者地域作業所へ出張して実施します。(2回)
 - ・障害者・関係者と地域住民がつながる「きっかけづくり」として、南区障がい児者団体連絡会活動のひとつである「ふれあいコーヒーショップ にこにこみなみ」についてわかりやすく記載したリーフレットの改訂増刷を行います。 地域
- (5) いきいきふれあい南なんデー 175万円
 - ・健康福祉まつりの開催を通して、区民の健康増進と地域福祉の向上を図ります。(10/6・大岡健康プラザ)

関連する 主な事業	<ul style="list-style-type: none"> ○ 疾病の重症化予防事業【健康福祉局から区配】(市合計885万5千円) <ul style="list-style-type: none"> ・糖尿病等の疾病の重症化予防のため、食生活相談の機会の拡充や健診結果を生活習慣改善に活用する集団支援事業を実施します。 ○ よこはまウォーキングポイント事業【健康福祉局事業】(市合計3億1,232万9千円) <ul style="list-style-type: none"> ・18歳以上の横浜市民が対象で、歩いた歩数に応じてポイントが付与され、抽選で景品が当たります。平成30年4月からはスマートフォン専用アプリの配信も始まりました。 ○ 健康みちづくり推進事業【道路局から区配】(市合計7,082万円) <ul style="list-style-type: none"> ・健康みちづくり広域版ルートである中村川沿いの道路において、楽しみながら健康づくりに取り組める歩行空間の整備について検討を進めます。
--------------	---

2 区民スポーツ支援事業 重点

457万8千円

<平成30年度 530万5千円>

《統合事業費分 258万5千円》 地域振興課 こども家庭支援課

区民が気軽に参加でき、「する・観る・支える」をテーマとした生涯スポーツを始めるきっかけとなる事業を推進するため、団体の活動を支援します。

また、既存の取組を拡充した区民スポーツ大会や、子どもたちが元オリンピック選手と触れ合うイベント等の開催、つながり清掃ウォーク等の連携を行うとともに、各イベントをつなぐスタンプラリーを実施し、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の機運醸成を図ります。

(1) 体育協会支援事業 30万円

- ・南区体育協会主催の地域貢献事業（みなっちランニングフェスタ（11月）、みなっちスポーツフェスタ（2月））に補助金を交付します。

(2) 区民スポーツ参加促進事業 400万8千円

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に向け、「こども」「地域」「競う」「体験」をキーワードとし、令和元年度を「スポーツでつながる・みなっち YEAR」と位置づけ、年間を通じて区民の機運を盛り上げます。

- ・年間を通じた各イベントを紹介するPRリーフレットを作成します。**新規**
- ・PRリーフレットを活用した各イベントをつなぐスタンプラリーを実施します。（7～2月）**新規**
- ・アスリートによるスポーツ体験教室（11月）、パラスポーツ講演会・体験会（1月）を開催します。
- ・オリンピック・パラリンピックをテーマとした展示を行います。（2月）（下記「関連する主な事業」参照）
- ・幼少期からスポーツに親しめる環境づくり、健康づくりを目指すため、区内の幼稚園児・保育園児が参加するスポーツイベント「第3回 あつまれ!みなっちげんきっず」を3回実施しました。（6/4・中村地区センター・120人、6/12・南太田小・192人、6/17・南小・136人）
- ・また、区民への機運醸成のため、「あつまれ!みなっちげんきっず」写真展を開催します。（12月・区役所、2月・オリンピック・パラリンピックをテーマとした展示と同時開催）
- ・【P42 再掲・関連】2020年のオリンピック・パラリンピック開催を見据え、地域の美化活動の輪を推進することを目指し、「つながり清掃ウォーク」を実施します。（11月）
- ・「みなっちスポーツフェスタ2020」として、既存の取組を拡充した区民スポーツ大会を南スポーツセンター等で開催します。小学校児童の個人や放課後キッズクラブ等が参加するジュニア対抗戦などのスポーツ大会や体験会、子どもから高齢者までの参加者全員が楽しめるイベントなどを実施し、スタンプラリーを通じた年間イベントのゴールとします。（2月）
- ・区民体力づくり事業（南の丘トレイルウォーキング） 27万円
- ・アップダウンを含む10km以上の健脚者向けトレイルコースを設定し、区民の体力づくりを目的とした事業として実施します。（11月）

<p>関連する 主な事業</p>	<p>東京2020大会に向けた機運醸成の取組【市民局から区配】(50万円)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オリンピック・パラリンピックをテーマにした展示を実施します。 <p>ラグビーワールドカップ2019TMに向けた機運醸成の取組【市民局から区配】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ラグビーをテーマにした展示を実施します。 (60万円) <p>東京2020オリンピック・パラリンピック横浜市推進事業【市民局事業】</p> <p>(市合計2億8,600万円)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大会開催の前年度にあたる令和元年度は、大会組織委員会をはじめとした関係機関と連携しながら、安全で円滑な大会運営に向けた検討や都市ボランティアの研修などを着実に進めるとともに、大会1年前などの節目を捉えたカウントダウンイベント等による機運醸成や英国代表チームによる事前キャンプの受入れに向けた準備、ホストタウンとしての取組などを行います。
----------------------	---

高齢者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう、地域包括ケアシステムの構築に向けた、南区行動指針を推進しました。

また、高齢化が進む中で、健康寿命を延ばし、地域の中で生き生きと自立した生活を送ることができるよう、介護予防に向けた取り組みを進めるとともに、地域の見守り・支え合いを関係機関と連携して進めました。

- (1) 地域包括ケアシステム推進事業 53万円
 - ・地域包括ケアシステムについて周知します。
 - ・各地域包括支援センターが開催する地域ケア会議において、地域分析を深める地区に講師を派遣する等開催支援を行う事業について、各地域包括支援センターに説明を実施しました。(4月)このうち、支援を希望する包括支援センターと打ち合わせを実施しました。(6月)
 - ・区レベル地域ケア会議の開催を行います。
- (2) お元気21高齢者推進事業 115万9千円
 - ・介護予防の普及啓発、介護予防健診や介護予防教室の運営を行うボランティアの養成講座(6~7月・4回)と活動支援を行います。
 - ・ボランティアと協働で介護予防健診「お元気で21健診」を実施(5/31・別所コミュニティハウス・33人受診、6/3・井土ヶ谷小・24人受診、6/12・永田地域ケアプラザ・21人受診、6/17・区役所・35人受診、9/29・太田小、10/6・大岡地区センター(南なんデー)、10/25・六ツ川地域ケアプラザ、10/29・睦地域ケアプラザ)するとともに、地域の高齢者サロン等で、ボランティアによる出前講座等を実施します。
 - ・かいご予防サポーターが自治会町内会や公園愛護会などの地域の活動者へ働きかけ、連携することで、それぞれの活動の活性化につなげていきます。また、スポーツ推進委員へ「かいご予防サポーター講習会」等を周知しました。(6月) 地域
- (3) 地域ささえあい活動推進事業 163万1千円
 - ・地区社会福祉協議会が行う高齢者の交流事業へ助成を行いました。(4月)
 - ・高齢者等への定期訪問を実施します。

関連する 主な事業	地域包括ケア推進事業費【健康福祉局から区配】(50万円) 介護予防普及啓発事業【健康福祉局事業】(市合計3,013万円) ・高齢者の健康づくりや介護予防について、リーフレット等の配布や講演会の開催を通して普及啓発します。 地域介護予防活動支援事業【健康福祉局事業】(市合計888万円) ・研修会等の開催により、地域の介護予防に関する活動の活性化や人材育成を行います。 元気づくりステーション事業【健康福祉局事業】(市合計1,203万円) ・身近な地域で主体的・継続的に介護予防に取り組むグループ活動(元気づくりステーション)について、新規立ち上げ等の支援を行います。 ○ ひとり暮らし高齢者等「地域で見守り」推進事業【健康福祉局から区配】 (市合計1,497万円) ・75歳以上の一人暮らし高齢者等について、横浜市が保有する個人情報をもとに民生委員に提供し、高齢者等への定期訪問につなげていきます。
--------------	--

認知症の予防や認知症の早期診断・早期対応を推進するため、認知症に関する知識の積極的な啓発を行います。また、認知症になっても安心して暮らせるまちづくりを目指します。

- (1) 認知症の啓発 107万9千円
- ・地域ケアプラザ等身近な場所で医師などによる講演会を実施します。(2回・11月)
 - ・区民の多く集まるイベントなどで、タッチパネルによる物忘れ相談プログラムを活用し、認知症の早期発見や早期診断につながるきっかけをつくります。(10月・南なんデー) **新規**
 - ・リーフレット等を活用し、区内の病院や薬局などで配布・掲示を行います。
 - ・認知症キャラバンメイト支援のための講座等を開催します。(1回)
- (2) 認知症サポート医との連携 5万9千円
- ・南区医師会の協力を得て、認知症サポート医を中心とした体制づくりを行い、認知症に関する課題の把握と効果的な早期対応の取組について検討・実施します。
- (3) 見守り支援 24万7千円
- ・「南区認知症高齢者あんしんネットワーク」に登録した高齢者が行方不明となった際に、関係機関(区、警察署、地域包括支援センター)と協力機関(公共交通機関等21機関)が早期発見に向けて情報を共有し、運用します。
 - ・あんしんネットワーク連絡会を実施し(1回)、キャラバンメイトによる商店街やコンビニエンスストア等の協賛機関に対する講座を行うことで、キャラバンメイトとしてのやりがいを感じてもらおうとともに、協賛機関の認知症への理解向上を図ります。 **地域**
- (4) 権利擁護に関する講演会の開催 18万1千円
- ・自らの老後について考えるきっかけとなるよう、成年後見制度の理解とエンディングノートの普及啓発を目的とした「終活講座」を開催します。(9～1月・5回)

関連する 主な事業	<p>地域で支える介護者支援事業【健康福祉局事業】(市合計1,536万円)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知症高齢者等を介護する家族の介護負担を軽減するため、介護者のつどい等の介護者支援を行うとともに、認知症への理解や高齢者虐待防止を進めるための普及啓発を行います。 ・高齢者虐待防止・早期発見のため、関係機関の連携支援体制を構築します。 ・認知症の人の行方不明時の早期発見と身元不明対策を目的とした見守りシールを作成します。 <p>○ 市民の意思決定支援事業【健康福祉局事業】(市合計1,286万円)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民一人ひとりが自らの意思で自身の生き方を選択し、人生の最後まで自分らしく生きることができるよう、エンディングノートを作成し、活用のための講座を開催します。
--------------	--

1	南区あったかいふるさとまつり事業	重点	1,071万円	<平成30年度 955万円> 地域振興課
<p>それぞれに特徴あるまつりを通じて、区民相互の交流促進、郷土愛の醸成、文化活動の推進、健康増進等を目的とした、いきいきとした区づくりを推進します。</p> <p>(1) 南まつり補助事業 476万円 ・区民相互の交流を促進するとともに、更なる暑さ対策を講じるなど安全面を考慮し、「子どもも大人も楽しめる」まつりとして、蒔田公園にて2日間のイベントを開催する予定でしたが、台風の接近に伴い、1日目(7/27)を中止とし、2日目(7/28)は実施しました。(延べ50,000人)</p> <p>(2) 南区桜まつり補助事業 595万円 ・春の風物詩として多くの方々が楽しめるよう、大岡川プロムナードのライトアップと蒔田公園での当日イベントなどを実施しました。(4月、<u>3月</u>) ・来場者の増加に伴い、仮設トイレの増設、水洗化を実施しました。 【参考1】 第29回南区桜まつりを開催(H31/3/31・蒔田公園・9,000人参加) 【参考2】 南区4大まつり (1)南区桜まつり(3~4月・蒔田公園) (3)いきいきふれあい南なんデー(10/6・大岡健康プラザ) (2)南まつり(7/28・蒔田公園) (4)南区文化祭(10/26、<u>27</u>・南センター、11/2、<u>3、4</u>・みなみん(南公会堂))</p>				

2	魅力発信・賑わいづくり事業		280万円	<平成30年度 270万円> 区政推進課
<p>区の花「さくら」を中心とした、南区の魅力の向上や発信に取り組みます。</p> <p>(1) 魅力向上の取組 30万円 ・区内の小学生を対象とした、区の花さくらに親しむための出前講座や、区民まつりでのさくら普及啓発ブース出店など、機をとらえた区の花「さくら」の普及啓発活動を実施します。 ・「南区さくらの名木」に指定した桜の樹木診断費、樹木治療費の一部を助成します。</p> <p>(2) 魅力発信の取組 250万円 ・南区ガイドマップや区HPに掲載のイメージフォトブックの記載内容を適宜更新し、区内外に対して積極的に南区の魅力を発信します。 ・民間事業者等と連携し、区外からの誘客促進につながる取組を実施します。</p>				
関連する 主な事業	<p>「Garden Necklace YOKOHAMA 2019」18区連携事業【環境創造局から区配】(200万円)</p> <p>道路修繕事業【道路局から区配】(市合計101億6,450万円) 街路樹管理事業【道路局から区配】(市合計17億4,710万円) 街路樹による良好な景観の創出・育成【環境創造局から区配】(市合計5億8,200万円) ・これらの事業の一環として、「南区さくら保全・活用計画」に基づき、大岡川プロムナードの歩道を再整備するとともに、樹木診断結果に基づき、状態の悪い桜の更新も行います。</p>			

3 みなみ商店街等活性化事業	270万円	<平成30年度 215万円> 地域振興課
<p>地域活性化を推進するため、地域とのふれあいや賑わいを創出し、魅力ある商店街づくり及び商店街等の活性化を図ります。</p> <p>(1) 商店街活性化イベント補助事業 50万円</p> <ul style="list-style-type: none"> 商店街が中心となり実施するイベント事業に対する補助金を交付することにより、地域とのふれあいや賑わいを創出し、魅力ある商店街づくり及び商店街の活性化を図ります。 <p>(2) 商店街等活性化支援事業 220万円</p> <ul style="list-style-type: none"> 南区内の商店街のお得な商品や逸品を提供するイベントとして、また、南区内の商店街をより広く区民の皆さまに周知する場として、「商店街朝市」をいきいきふれあい南なんデーと合わせて10月6日に、防災フェスタと合同で行う「商店街フェスタ」を2月に南区商店街連合会との連携で開催します。 商店街のイベント等の応援をいただくために地域住民(町内会等)や学校、団体から募集する「商店街サポーター」の募集や活動の周知、また、商店街や企業が地域・学校等に対する地域貢献事業をより促進するために広報活動による支援を行い、商店街や企業と地域の連携強化を図ります。 地域 商店街プロモーションビデオ及び各商店街が制作しているパンフレットについて、各所での放映、配架を行い、市民や来訪者など、広く目に留まるようPRを行います。 新規 		
関連する 主な事業	<p>○ 横浜市商店街活性化イベント助成事業【経済局から区配】(市合計2,800万円)</p> <ul style="list-style-type: none"> 商店街が実施する地域とのふれあいや賑わいを創出するイベントを支援します。 	

4 区民文化活動支援事業	168万3千円	<平成30年度 155万円> 地域振興課
<p>区民が主体的に行う文化活動を幅広く支援するため、南区文化祭実行委員会に補助金を交付するとともに、南区文化賑わい支援補助金にて活動団体を支援します。また、幅広い世代の方が本に触れる機会を提供するために、子育て支援の団体と読み聞かせ団体との連携を促します。</p> <p>(1) 南区文化祭支援事業 105万円</p> <ul style="list-style-type: none"> 文化祭を実施する実行委員会に補助金を交付します。(区民創作作品展:10/26~27・南センター、区民ステージ:11/2・みなみん(南公会堂)、フラ フェスタ:11/3・みなみん(南公会堂)、みんなの合唱祭:11/4・みなみん(南公会堂)) <p>(2) 南区文化賑わい支援事業 50万円</p> <ul style="list-style-type: none"> 区民の文化活動の活性化または賑わいの創出のため、活動団体が自主的・主体的に企画、実施する事業について、補助金交付による支援を行います。(3団体) <p>(3) 南区読書活動推進事業 13万3千円</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域の読み聞かせのボランティアや図書館司書などからの情報収集を行い、各団体とのネットワークづくりを進めます。また、読み聞かせ団体と子育て支援団体との連携を促し、双方向の活動として、それぞれのやりがいにつなげます。 新規 地域 		

5 みなみ多文化共生推進事業 重点

853万5千円 <平成30年度 835万3千円>
 地域振興課 区政推進課 こども家庭支援課

区内に暮らす外国籍等の住民と地域社会が共に暮らしやすいまちづくりを進めるため、区役所やみなみ市民活動・多文化共生ラウンジにて情報提供や生活相談等を行います。また、区内で行われるイベント等への通訳派遣・チラシの翻訳、また、ごみ集積場所の啓発看板及びチラシを多言語で作成する等、不適正排出の防止を行います。

- (1) 外国人共生支援事業 209万8千円
 - ・弁護士・教育関係者等の専門家による多言語相談等を行います。
 - ・区内で行われるイベント等への通訳派遣を行います。
 - ・自治会町内会や区の事業のチラシなどの翻訳を行います。
 - ・外国籍等青少年の地域でのつながりの強化や、地域・社会での活躍促進を進めるため、ボランティア向けの講座や情報交換会(6月・7団体参加)、外国籍等青少年向けに交流会(8/23・33人参加)などを実施します。 **新規**
- (2) 学校を核にした多文化共生事業 104万円
 - ・外国籍等児童が多い小学校に対して、多言語ボランティアを配置し、多文化共生に資する取組を支援します。また、新たに保護者や地域住民の参加を促し、ボランティアとして関わる契機とします。(対象校:南吉田小、日枝小、石川小、中村小、蒔田小、太田小・5~2月・79回) **地域**
- (3) 通訳ボランティア配置事業 378万円
 - ・通訳ボランティアを区役所窓口へ配置します。(中国語:週5回(午後)、英語:週2回(全日))
 - ・外国籍等の住民のための「南区役所活用ガイド」(英語・中国語)を発行し、転入者や希望者へ配布します。
- (4) 多言語による子育て支援事業 135万5千円
 - ・乳幼児健診時に通訳を派遣します。(中国語・英語・タガログ語)
 - ・各種相談窓口のリーフレット等の翻訳を行います。(中国語・英語・タガログ語・ハングル)
 - ・保育所利用案内の翻訳を行います。(中国語・英語) **新規**
 - ・放課後キッズクラブ及びはまっ子ふれあいスクールで、お知らせの翻訳や通訳ボランティアの派遣を行います。(中国語・英語・タガログ語等)
- (5) 不適正ごみ排出防止対策事業 26万2千円
 - ・不適正排出防止ステッカー(英語・中国語)などを作成して配付します。
 - ・外国籍等の住民向け分別教材を作成し、日本語教室などでの出前講座で使用します。

関連する 主な事業	○ 区役所窓口におけるタブレットを活用した多言語対応【国際局事業】 <ul style="list-style-type: none"> ・戸籍課及び保険年金課窓口にタブレット端末を設置し、必要に応じて、テレビ電話通訳(英語・中国語)による案内を行います。 日本語支援推進事業【教育委員会事務局事業】(市合計1億2,135万1千円) ・日本語指導が必要な児童生徒の学校生活への早期適応を図るため、国際教室や日本語教室での指導、母語による初期適応・学習支援、通訳ボランティアの派遣などを行うとともに、日本語支援拠点施設「ひまわり」においてプレクラスや学校ガイダンス、就学前教室などを実施します。 放課後学び場事業【教育委員会事務局事業】(市合計695万円) ・家庭での学習が困難であったり、学習習慣が十分に身につけていない中学生を対象に、大学生や地域住民等の協力による学習支援活動を実施します。
--------------	---

<参考> 区局連携促進事業

「多文化共生コミュニティづくり」のモデル実施	500万円【国際局】	区政推進課
外国籍等の住民が急増する地域において、多文化共生のまちづくり支援をモデル事業として行います。		
多文化共生コミュニティづくり事業 500万円		
<ul style="list-style-type: none"> ・国際局や教育委員会事務局、横浜市国際交流協会等と連携し、みなみ市民活動・多文化共生ラウンジのコーディネート機能の強化を通じて、地域で暮らす日本人居住者・外国人居住者のニーズに応じた取組を行い、在住外国人と地域社会がともに暮らしやすいまちづくりを引き続き支援します。 		

6 みなみのみらい計画推進事業 重点

692万2千円

<平成30年度 493万4千円>

総務課 区政推進課 福祉保健課

第3期南区地域福祉保健計画を推進するため、計画推進状況概要版の発行やイベントでの計画啓発を行い、区民と協働により計画を推進します。また、第4期南区地域福祉保健計画策定の準備を進めます。南区運営方針を策定し、広く区民に周知するとともに、南区統計概要を発行し、区政情報の提供をします。また、子どもたちが環境問題に興味を持つ機会を提供するとともに、身近な緑の維持・保全に取り組みます。

- (1) 南区地域福祉保健計画推進事業 484万円
 - ・第3期地域福祉保健計画（平成28年度～令和2年度）の推進にあたり福祉保健関係者による協議や情報共有を行い、地域福祉保健課題解決に向けた基盤づくりを行います。
 - ・連携を推進するため、南区地域福祉保健計画推進連携会議（愛称：みなっち茶屋）を開催します。（1月）
 - ・区民に広く計画の成果を周知し、地域福祉の良好な活動を共有するため、様々な広報媒体を通じた広報活動を行います。（5月・広報よこはま南区版掲載）
 - ・第4期地域福祉保健計画（令和3～7年度）の策定にあたり、区民アンケート（5月・3,200人送付）、関係者アンケート（5月・323団体送付）及び関係者ヒアリング等を実施し、専門家のアドバイスを受けながら現状の課題分析したうえで、第4期地域福祉保健計画骨子を作成します。区計画とともにつくる地区別計画は地域の課題や資源など地域の実情にあわせて策定に向けた準備を進めます。策定にあたっては、区役所と関係機関が連携して取り組みます。
- (2) 「みなみの福祉保健」を考える懇談会運営事業 5万円
 - ・「みなみの福祉保健」を考える懇談会を開催します。（3月）
- (3) 区政推進事業 69万円
 - ・南区運営方針の策定や区連絡調整業務を進めます。
- (4) 統計概要の作成 56万円
 - ・統計概要「統計で知る みなみ」の作成を行います。（12月）
- (5) 温暖化対策普及啓発事業 39万2千円
 - ・民間企業、団体が提供する出前講座を区内市立小学校に紹介するなどにより、講座開催を支援します。
 - ・地域のグループ等に対し、緑のカーテン栽培物品を提供しました。（4月・18グループ・218人）
 - また、物品提供時に参加者同士が知識や経験など自由に意見交換できる場を設けることで、温暖化対策とともに地域等のつながりづくりを図りました。（4月・18グループ・24人）
- (6) 緑花推進事業 39万円
 - ・小学校校庭の芝生の維持管理を実施・支援します。
 - ・普及花「芝桜」をはじめとした花の種・苗等を、区内小・中学校、保育園、公園愛護会へ配付します。（9～3月）

地域

関連する
主な事業

地域福祉保健計画推進事業【健康福祉局から区配】（市合計1,563万円）
 ・第4期横浜市地域福祉保健計画を推進します。また、第3期区計画の推進支援及び第4期区計画の策定を支援します。
 子どもを育む空間での緑の創出・育成事業【環境創造局から区配】
 （市合計7,769万円）

<参考> 区局連携促進事業

管理不全空家対応モデル検証事業

市合計1,450万円（参考：総事業費2,000万円）【建築局】

区政推進課

所有者等に対する管理適正化の指導を要する空家について、建築局及び18区の連携により、指導強化に向けたモデル事業を実施します。

- (1) 経過観察調査、所有者調査のモデル検証 1,150万円
 - ・危険度を把握する経過観察調査、早期指導のための所有者調査を行います。
- (2) 相談体制強化と活用促進のモデル検証 300万円
 - ・所有者の自主改善を進める総合案内ができる機能の検討や、空家所有者に対する活用補助を行います。

1 すこやか子育て支援事業 重点 648万1千円 <平成30年度 656万円>
こども家庭支援課

養育者の子育て力の増進と相談体制の充実を図り、地域ぐるみで子育てを応援し養育者支援を強化します。また、地域での見守りと子育て支援によって、児童虐待の未然防止や障害児の地域からの孤立を防止します。

- (1) 赤ちゃん学級 64万1千円
 - ・主に1歳未満の第1子の養育者の育児不安解消と仲間づくりを目的に、区内11会場で教室を開催します。(7月末時点・44回・延べ528組・1,082人参加)
- (2) 土曜両親教室 14万6千円
 - ・出産や子育てのポイントを学ぶための両親教室(平日開催)に参加が難しい就労妊婦とパートナーのために、土曜両親教室を開催します。(6/8・27組・53人参加、9/14、12/14、3/14)
- (3) 児童虐待予防事業 205万8千円
 - ・児童虐待の予防につながるよう、養育者に対する心理的な支援に資する個別相談を行います。(7月末時点・8日間・29件)
 - ・アドバイザーの助言や居場所マップの配布を通して、子ども食堂などの居場所づくり活動を支援します。(5月・区内小学校全児童と関係機関に南区子どもの居場所マップ配布、活動団体交流会：6/14・10団体・46人参加、10/31)
また、子どもの居場所の紹介パネルを作成し、地域に広く周知します。
 - ・こんにちは赤ちゃん訪問員、主任児童委員合同研修を実施し、相互の活動を理解し、新たなつながり作りを行いました。(6/14・46人参加) 地域
- (4) 障害児地域交流活動推進事業 35万円
 - ・障害児の余暇支援と障害児理解の普及啓発・情報発信を目的に「学齢障がい児夏休み支援運営委員会」に補助金を交付しました。また、障害理解のための普及啓発を行いました。(サマーフレンド事業: 8/2、8/3、8/17)
- (5) 子育て情報提供事業 230万円
 - ・子育てに関する相談窓口を紹介するリーフレットや、地域の子育て支援情報をまとめた「子育て応援マップ」を作成します。
 - ・地域の子育て支援情報や乳幼児の健康づくりに関する情報を広く提供できるよう、乳幼児健診待合スペースで放映するためのDVDを作製します。 新規 地域
- (6) 保育園応援隊 28万6千円
 - ・ボランティア活動を通じ、地域の方々と保育園児が交流し、児童の健全な育成を図るとともに、地域との連携を深めます。
 - また、保育園児が高齢者サロンなどを訪問し、地域の高齢者との交流を深めるほか、公園愛護会や地域の方々とふれあい清掃活動を行います。 地域
- (7) みなっち杯えきでん交流事業 70万円
 - ・区内の認可保育園の園児同士の交流を深め、保育園間のネットワークづくりを進めるため、えきでん大会を開催します。(11/1・清水ヶ丘公園)

<p>関連する 主な事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 児童虐待啓発地域連携事業【こども青少年局から区配】(40万円) <ul style="list-style-type: none"> ・地域における児童虐待防止と関係機関の対応力の向上をめざし、会議・研修・ネットワーク強化や啓発活動に取り組みます。 母子保健コーディネーターのモデル配置【こども青少年局事業】 (市合計1億2,080万円) <ul style="list-style-type: none"> ・子育て世代包括支援センターの機能として、区福祉保健センターに母子保健コーディネーターを配置し、主に妊娠届出時から産後4か月までの継続した相談対応や母子保健サービスの利用紹介等を行うことで、妊婦や養育者の不安や負担の軽減を図ります。
----------------------	--

2 青少年育成事業

121万円

<平成30年度 472万1千円>

《統合事業費分 284万5千円》地域振興課 こども家庭支援課

地域の青少年の健全育成を推進するため、団体等の活動に対し補助金を交付します。

(1) 青少年活動補助金 81万円

- ・異年齢児間交流のための「ふれあいキャンプ事業」(7/13~15)や青少年参画を図りながら実施する作文募集・表彰・朗読発表の「ボイス・オブ・ユース事業」(12月)に対し、青少年指導員協議会へ補助金を交付します。
- ・ボイス・オブ・ユースの入選作品の作文集を自治会・町内会長へ配布・紹介し、地域とのつながりを深めます。地域
- ・区民少年野球大会を実施する南区区民少年野球大会実行委員会へ、補助金を交付します。(5~7月)

(2) 学校と地域の交流応援事業 40万円

- ・小・中学校をはじめとした区内学校の児童・生徒と、学校周辺の地域住民との交流活動を促進するために、学校と地域との調整や、物品の提供を行い、学校による地域貢献と地域による学校支援につなげます。(対象校：永田小、六つ川西小、蒔田中、南が丘中、6~2月)
- ・横浜総合高校が「総合的な学習の時間」の一環として実施する、「横総生にオファーです」において、生徒へ地域の課題解決策の提案を依頼します。(10~1月) 地域

1 地域の力応援事業	重点	466万5千円	<平成30年度 435万円>
		地域振興課	区政推進課 福祉保健課 高齢・障害支援課

地域の実情に応じた支援を行い、地域活動の好循環につなげられるよう、地域情報の提供や好事例の発信、全職員の意識醸成など、地域の力を応援するための基礎となる取組を行います。

- (1) 地区別情報収集・提供事業 200万円
 - ・平成29年度より作成している地域別データ集について、地域における活用例やニーズを踏まえ、データの追加・更新を行います。(～3月)
 - ・南区の地形と年齢別人口や世帯等の各種データを重ね合わせ、地域の特徴を視覚的に把握できる施策検討資料を整えます。(～3月) 新規
- (2) 地域連携情報発信事業 110万円
 - ・担い手後継者づくり、他の自治会町内会や学校等との連携による取組などの好事例を地域情報誌「キラリ」及び区のホームページで積極的に発信します。
 - ・職員のさらなるレベルアップによる区役所の地域支援機能の充実を目指し、研修を実施します。
(転入職員向け：5月・37人受講) (区専門職向け：8月・48人受講)
(地域支援チーム向け：2回開催予定 5月・97人受講 時期未定)
- (3) コーディネーター派遣事業 156万5千円
 - ・地域資源発掘・連携支援、地域の居場所づくり支援のためコーディネーターを派遣します。
 - ア 地域資源発掘・連携支援のため、団体の主体的・継続的な活動を促進することを目的に活動に対する助言等を行う専門家を派遣します。(1団体、3回派遣)
また、地域施設間連携事業(まるごとみなみ)を推進するための情報交換(5月・全体会実施)を行うとともに、地域の人材発掘やつながり作りを進める講座を実施します。
 - イ 地域の居場所づくり支援のため、常設型サロンの立ち上げを検討する団体に対し、事業化に向けたプランニング等の支援を行う専門家を派遣します。

関連する主な事業	<ul style="list-style-type: none"> ○ 区民活動支援センターの機能強化事業【市民局事業】 21万5千円 ・区民活動支援センターが、中間支援組織として、地域の課題解決や魅力ある地域づくりを行う団体を支援するため、「コーディネート機能」の向上を図ります。
----------	--

南区地域福祉保健計画推進事業 【P35 再掲】

第4期地域福祉保健計画(令和3～7年度)の策定にあたり、区民アンケート及び関係者ヒアリング等を実施し、専門家のアドバイスを受けながら現状の課題を分析したうえで、第4期地域福祉保健計画骨子を作成します。区計画とともにつくる地区別計画は、地域の課題や資源な地域の実情にあわせて策定していきます。策定にあたっては、区役所と関係機関が連携して取り組みます。

地域の力を応援する視点での事業の工夫(23事業) **地域** 【再掲】

担い手後継者の確保、若い層の地域関心度向上、地域の取組意欲の一層の盛り立てに向けて、自治会・町内会や各種団体、企業、学校、施設等に対し、出会いつながる場面を設定し、お互いの活動を理解して、ちょっと協力し合える関係づくりを支援できるよう事業を工夫しました。

- 1 防災啓発事業 (P26 みなみ減災推進事業)
- 2 災害時要援護者取組支援事業 (P26 みなみ減災推進事業)
- 3 働き・子育て世代の健康づくり推進事業 (P28 健やか元気応援事業)
- 4 障害者サポート事業 (P28 健やか元気応援事業)
- 5 かいご予防サポーターと地域の人材の連携 (P30 いきいきシニア健康応援事業)
- 6 見守り支援 (P31 認知症早期対応・見守り支援事業)
- 7 商店街等活性化支援事業 (P33 みなみ商店街等活性化事業)
- 8 南区読書活動推進事業 (P33 区民文化活動支援事業)
- 9 学校を核にした多文化共生事業 (P34 みなみ多文化共生推進事業)
- 10 温暖化対策普及啓発事業 (P35 みなみのみらい計画推進事業)
- 11 児童虐待予防事業 (P36 すこやか子育て支援事業)
- 12 子育て情報提供事業 (P36 すこやか子育て支援事業)
- 13 保育園応援隊 (P36 すこやか子育て支援事業)
- 14 青少年活動補助金(ボイス・オブ・ユース) (P37 青少年育成事業)
- 15 学校と地域の交流応援事業 (P37 青少年育成事業)
- 16 単身世帯向けごみ分別案内配布 (P42 みなみチャレンジごみ減量事業)
- 17 リサイクル現場等への親子見学ツアー (P42 みなみチャレンジごみ減量事業)
- 18 つながり清掃ウォーク (P42 みなみチャレンジごみ減量事業)
- 19 入居者向け町内会加入申込書の配布 (P43 地域住民との連絡調整事業)
- 20 自治会町内会加入促進リーフレット (P43 地域住民との連絡調整事業)
- 21 補助金説明会(相談会)の実施 (P43 地域住民との連絡調整事業)
- 22 幼稚園児等交通安全教室 (P44 地域で守ろう私の安全安心事業)
- 23 防犯啓発活動 (P44 地域で守ろう私の安全安心事業)

印は令和元年度予算から事業の工夫を行ったもの

<参考> 元気な地域づくり事業

南区元気な地域づくり推進事業	497万9千円	<平成30年度 554万9千円> 地域振興課 福祉保健課
<p>自治会町内会をはじめとする地域で活動する様々な団体や人々と区役所が連携して、地域課題の解決に向けた取組を支援します。</p> <p>(1) 地域活動補助金事業 254万5千円</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域による地域課題解決に向けた取組を支援するため、みなみ・ちからアップ補助金事業や地域福祉保健計画チャレンジ支援事業の実施にあたり、相談・受付を行い、交付決定を行いました。(7件) また、交付団体による活動発表会を行います。(2月・みなみん(公会堂)) <p>(2) 協働の地域づくり推進事業 40万円</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域課題についての地域と行政の意見交換や情報共有を行う場として、地区連合町内会が主催する地区懇談会の開催を支援しました。(5~6月・16地区・844人参加) <p>(3) 地域人材づくり事業 203万4千円</p> <ul style="list-style-type: none"> 自治会町内会活動等の次代の担い手となる人材育成のための講座(みなみ・地域づくり大学校)や区民が企画する講座等を実施します。(5~3月) 		

<参考> SDGs未来都市地域主体型事業

大規模団地の活性化支援	100万円【温暖化対策統括本部】	区政推進課 福祉保健課 高齢・障害支援課
<p>SDGs未来都市の実現を目指し、南永田団地における地域主体のまちづくりを支援します。</p> <p>地域の活性化支援事業 100万円</p> <ul style="list-style-type: none"> 空き店舗を活用した拠点づくりの取組を踏まえながら、環境・経済・社会の3つの側面から、地域主体の持続可能なまちづくりに関する企画、検討、調査を行います。 地域の活性化に向けて、区役所や地域・小学校等関係団体間での課題の共有や、具体的取組に向けた検討・調整を行います。 		

<参考> 区局連携促進事業

大規模団地活性化支援事業	240万4千円(参考:総事業費375万4千円)【建築局】	区政推進課 福祉保健課 高齢・障害支援課
<p>高齢化が進む南永田団地において、空き店舗を活用し新たに開設された拠点の活動を中心とした地域活性化の取組について、建築局等と連携し、総合的な支援を行います。</p> <p>(1) マンション・団地再生コーディネート支援事業<モデル拡充> 98万円</p> <ul style="list-style-type: none"> 新たに開設された拠点について、経営面からの課題の洗い出しや課題解決への道程づくり等をサポートするコーディネーターをモデル的に派遣します。 <p>(2) 総合再生支援事業<モデル拡充> 142万4千円</p> <ul style="list-style-type: none"> 将来的な団地再生に向けたビジョンの検討を支援するとともに、新たに開設した拠点を中心としたエリアマネジメントを見据え、同拠点を運営するNPO法人に対して補助を行い、事業手法の多角的な検討・試行・検証を行います。 		

着実に取り組む事業

* ()内は実績。下線を付したものは今後の予定です

1 区庁舎環境整備等事業	323万5千円	<平成30年度 281万4千円> 総務課 税務課 区政推進課
<p>区民に快適な区役所づくりを推進するため、職員の資質向上を図る人権啓発研修等の実施や区役所業務の改善を行うほか、来庁者にやさしい庁舎環境を整備します。また、申告時期に身近に相談ができる機会を設け、納税者の利便性向上を図ります。</p> <p>(1) 職員の資質向上事業 49万4千円 ・改革推進委員会等の活動を通じて、区役所業務の改善に努めます。 ・職員向け人権啓発研修、区民を対象とした人権啓発講演会を実施します。(7～<u>1月</u>)</p> <p>(2) 区庁舎環境整備事業 95万円 ・必要度・緊急度に応じて庁舎環境の改善を図ります。 ・庁舎の環境維持のため必要な保守管理業務等を実施します。</p> <p>(3) 市税啓発事業 74万5千円 ・来庁者が集中し混雑、混乱する申告時期に、専門家による申告相談を実施するとともに、窓口での不要な待ち時間を解消するため案内及び相談等を行います。(1～<u>3月</u>)</p> <p>(4) 庁舎移転に対応したバス乗継広報 104万6千円 ・バス乗継により来庁される南区西部地域の皆様に利用案内を全戸配布することで、円滑な利用を図ります。</p>		

2 広報広聴事業	162万4千円	<平成30年度 949万7千円> 《統合事業費分 818万3千円》 区政推進課
<p>南区への転入者等に区民生活マップで区政情報を提供します。また、区民のご意見ご要望を伺い区政・市政に反映させる広聴事業を行います。</p> <p>(1) 広報・広聴事業 162万4千円 ・区民生活マップを発行し、転入者や希望者へ配布します。</p>		

3 みなみチャレンジごみ減量事業

464万3千円

<平成30年度 457万8千円>

《統合事業費分 28万8千円》

地域振興課

横浜市一般廃棄物処理計画（ヨコハマ3R夢プラン）の南区削減目標に向け、区民・事業者・区役所が目標を共有し、協働のもと、ごみの発生抑制と減量化を進め、きれいな街づくりを推進します。

(1) ヨコハマ3R夢プラン推進事業 298万2千円

- ・ごみ減量モデル地区を4地区設け、2つの重点分野（分別徹底（その他の紙）、食品ロスの削減）を設定し、地域住民の減量行動のきっかけとなる取組を推進します。
- ・区民の集まる場所（スーパーの店頭・各種イベント・キャンペーン）での啓発活動を行います。
- ・幼稚園・小学校に訪問して出前講座を行います。
- ・環境事業推進委員と連携し、各地区の集積場所が抱える不適正排出等の課題について情報交換や討議を行う、地区3R夢会議を4地区ずつ計4回開催します。
（9/3、9/4、9/9、9/11）
- ・宅建協会南支部に協力を依頼し、ワンルーム・単身者の物件契約時に入居者に対してごみ分別リーフレットをお渡ししてもらうほか、分別啓発動画の周知によるごみ出しルールの向上に努めます。 地域
- ・環境事業推進委員の活動を紹介し、活動への関心を高めてもらうために、食品ロス削減の取組を紹介する講座を実施するとともに、南本牧最終処分場への親子見学ツアーを開催しました。（8/1・19人参加） 新規 地域

(2) つながり清掃ウォーク、不法投棄・不適正排出防止事業 153万1千円

- ・2020年のオリンピック・パラリンピック開催を見据え、地域の美化活動の輪を推進することを目指して、区民や企業等の団体が期間を合わせて日頃の清掃活動と区内一斉清掃を行う「つながり清掃ウォーク」を実施します。（11/16） 地域
- ・大岡川プロムナードの清掃活動を桜・落葉期の時期に、障害者地域作業所へ委託します。
（4月、10~12月）

(3) 南区環境にやさしい街づくり推進本部会議 13万円

- ・区推進本部会議・功労者表彰式を実施しました。（5/13・区役所・42人参加）

<p>関連する 主な事業</p>	<p>3R夢プラン目標達成に向けた取組【資源循環局事業】（市合計2,353万3千円）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3R夢プランの普及啓発を進めるとともに、環境学習を推進します。 ・クリーンタウン横浜の推進【資源循環局事業】（市合計2億107万円） ・「清潔で安全な街・ヨコハマ」の実現を目指し、美化推進重点地区で歩道清掃を実施し、たばこのポイ捨て防止など街の美化を推進するための取組を進めます。
----------------------	--

4 地域住民との連絡調整事業

344万5千円

<平成30年度 298万8千円>
地域振興課

地域住民組織である自治会町内会との連絡調整等を円滑に進めるため、自治会町内会への依頼業務の負担軽減対策としての配送業務の委託や、自治会町内会長感謝会等を実施します。

- (1) 配送業務の委託 171万7千円
 - ・区等が自治会町内会に回覧・掲示依頼する印刷物等を指定する場所に配送します。(8、12月を除く各月)
- (2) 自治会町内会長感謝会の開催及び永年役員表彰の実施 104万8千円
 - ・自治会町内会を代表し、運営を総括する会長の日ごろの労苦に感謝の意を表すため、感謝会を開催するとともに、5年在職の会長に対し、感謝状と記念品を贈呈します。
 - ・自治会町内会の役員を永年務めた方に区長感謝状を贈呈します。(3 / 4 ・区役所)
- (3) 自治会町内会加入促進 65万円
 - ・宅建協会南支部等の協力により、物件契約時に居住者に対して自治会町内会の加入案内を配布し、加入率向上に努めます。 地域
 - ・内容を若い世代や子育て世代向けに一新した加入促進リーフレットを増刷・配布し、将来の担い手確保につなげます。 地域
- (4) 補助金説明会(相談会)の実施 3万円
 - ・地域活動推進費・地域防犯灯維持管理費補助金について、新しく役員になった方々の負担軽減を図り、且つ、受付から補助金支出までをスムーズに行うため、説明会(相談会)を実施しました。(5 / 26 ・区役所) 新規 地域

<p>関連する 主な事業</p>	<p>地域活動推進費【市民局から区配】(市合計8億6,260万円(自治会町内会分))</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治会町内会及び地区連合町内会の公益的活動に対して補助金を交付するとともに、市・区との連絡調整や地域活動への加入促進事業等に取り組む市・区連合町内会へ補助金を交付し、その活動を支援します。
----------------------	--

5 地域で守ろう私の安全安心事業

798万円

<平成30年度 805万9千円>

《統合事業費分 29万5千円》

地域振興課

「安全で安心して暮らせる街づくり」のために、交通安全の啓発、放置自転車対策及びスクールゾーン対策、地域の自主的な防犯活動支援及び防犯意識を高める啓発を実施します。

- (1) 交通安全支援事業 165万2千円
 - ・小学生を対象とした「はまっ子交通あんぜん教室」を実施します。また、地域の交通安全教室等を支援します。(4~11月)
 - ・各種交通安全運動、自転車マナーアップ等の啓発キャンペーンを実施します。
 - ・交通安全区民総ぐるみ大会を開催し、交通安全功労者表彰を実施します。(9/30・みなみん(南公会堂))
 - ・幼稚園児等とその保護者を対象に交通安全教室等を実施し、地域で活動している交通安全母の会や学援隊などの活動を紹介します。(10月、12月) 地域
- (2) スクールゾーン対策事業 109万8千円
 - ・各小学校のスクールゾーン対策として、路面表示等の新設・補修(7~3月)やスクールゾーン対策組織に助成金を交付しました。(7月)
- (3) 放置自転車対策事業 156万6千円
 - ・区内鉄道8駅に自転車等放置防止監視員を配置します。
- (4) 防犯啓発活動 40万円
 - ・被害が増加している振り込め詐欺対策を引き続き強化するため、キャンペーン、防犯教室、地域情報誌を活用した啓発などを警察と連携して実施します。
 - ・消費生活推進員や地域の方が行う防犯活動を広報、周知することで、活動の機会を増やすことにつなげます。 地域 新規
- (5) 地域防犯活動支援 321万4千円
 - ・こどもの安全対策支援として、110番の家マップを刷新するとともに、昨年度と同様に新入学児童へ防犯ブザーを配布します。(3月)
 - ・自治会町内会への防犯物品の配布、みなっち号(防犯パトカー)によるパトロール等を行います。
- (6) 防犯情報提供等 5万円
 - ・安全安心まちづくり推進連絡会を開催します(総会・6/20、キャンペーン・10/25)
 - ・登録した区民へ防犯情報等をメール配信します。

関連する 主な事業	自転車マナーアップ事業【道路局から区配】(711万3千円) ・自転車等放置防止監視員を配置し、交通の妨げとなる放置自転車の防止活動を行います。また、自転車のマナーアップに関する啓発活動を行います。
--------------	---

6 食とくらしの衛生支援事業

102万円

<平成30年度 95万円>

生活衛生課

区民が快適で安全な生活を送るため、食品衛生に関する啓発、支援を行います。また、衛生害虫やハチに関する知識や防除方法についての啓発、ペット飼育のマナー向上と災害時におけるペット対策の働きかけ、小学校での動物ふれあい教室を行います。さらに、高齢者施設での動物ふれあい活動を行っているボランティア団体の支援を行います。

(1) 食品衛生知識・衛生支援 40万8千円

- ・食品関係業者、ボランティア給食関係者(いわゆる「子ども食堂」運営者等を含む。)、消費者等を対象に講習会、講演会を実施します。
- ・食中毒予防キャンペーン等の啓発イベントを実施します。(8~10月)

(2) 衛生害虫等対策事業 2万円

- ・衛生害虫等に関する知識・防除方法について啓発を行うとともに、アシナガバチの巣駆除器材の貸出を行います。

(3) 人と動物との共生事業 41万7千円

- ・飼い主のマナーに関するリーフレット等の作成・配布を行います。(1,200枚)
- ・災害時用ペットカードの作成し、配付を行います。(150枚)
- ・人と動物とのふれあいセミナー(講演会)を開催します。(9月)

(4) 動物ふれあい(動物介在)活動推進事業 17万5千円

- ・ボランティア団体による高齢者施設等への訪問活動の支援(ボランティア動物適性判定会)を行います。(5月・区役所・4組参加(3組合格)、10月)

(3) 令和2年度南区個性ある区づくり推進費の編成に向けて の考え方について

区民の皆さまとの協働のもとで、
「あったかい」南区をつくります。

令和2年度南区個性ある区づくり推進費自主企画事業費については、引き続き「減災」「健やか」「賑わい」「こども」の4つを重点に位置付け、「地域の力」を取組の礎として、予算編成を進めます。

事業の推進にあたっては、「仕事の基本」を組織全体で大切にしながら、それぞれの職位に応じた役割を果たすとともに、区役所全体でチーム力を発揮します。また、区を取組をしっかりと伝えながら、これからも地域の皆さまと「共感と信頼」を育み、暮らしやすいまちをつくります。

令和2年度 南区個性ある区づくり推進費自主企画事業の重点

減災

大地震、土砂災害等で大きな被害が想定される南区では、被害軽減に向けて、区民一人ひとりの自助対策をはじめ、共助力向上を支援し、地域防災力を充実させます。

健やか

幼少期からの食育の推進、働き・子育て世代からの生活習慣病予防や運動習慣の定着、介護予防などの取組を進め、いくつになっても地域で自分らしく暮らすことを目指します。また、区民のスポーツへの関心を高めま

賑わい

下町情緒あふれる商店街、南区4大まつり、歴史ある寺社や文化財、大岡川プロムナードや桜の名所など魅力ある資源を生かし、市内外からの誘客に取り組みます。また、多文化共生のまちづくりを推進します。

こども

子どもを地域と共に見守ることや、多様な情報を発信することなどにより、子育て支援や青少年の健全育成を進めます。また、外国籍等の児童・養育者を支援します。

地域の力

地域の実情に応じて活動を応援し、皆さまと一緒に地域の活性化に取り組みます。

着実な取組

交通安全・防犯対策、ごみの減量や温暖化対策などの取組を通じて、区民の皆さまに寄り添った区役所づくりを進めます。